

SDGsの推進に向けた取組

平成31年3月

企画局企画課

はじめに 2030アジェンダ

決意

人間 地球 繁栄
平和 パートナシップ

目指すべき世界像

- 1 「人間の安全保障」が確保された世界
- 2 持続可能な経済成長と人間らしい仕事のある世界
- 3 環境問題の解決など1・2の前提が確保された世界

2030年までに

- D: 全ての主体の力を集結
公共政策及び国内リソースの活用
- C・A: 既存システムを活用して実施
グローバル・ローカル指標
情報共有の場の設定

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



誰一人取り残すことなく

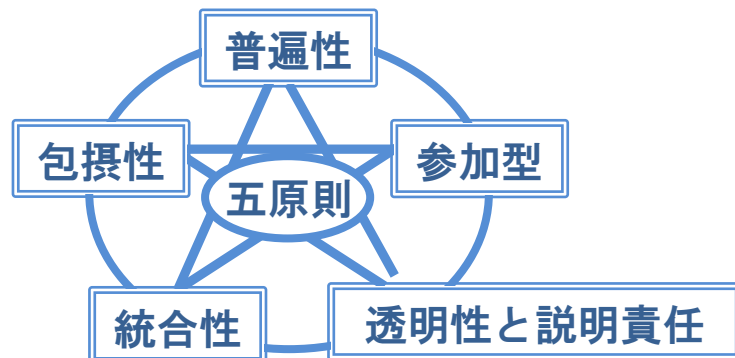
現 状

- ・ 貧困 ・ 紛争 ・ 失業
- ・ 国内的、国際的不平等
- ・ ジェンダー不平等
- ・ 健康脅威 ・ 自然災害
- ・ 暴力的過激主義
- ・ 資源減少・環境問題

MDGsの積み残し

チャンス

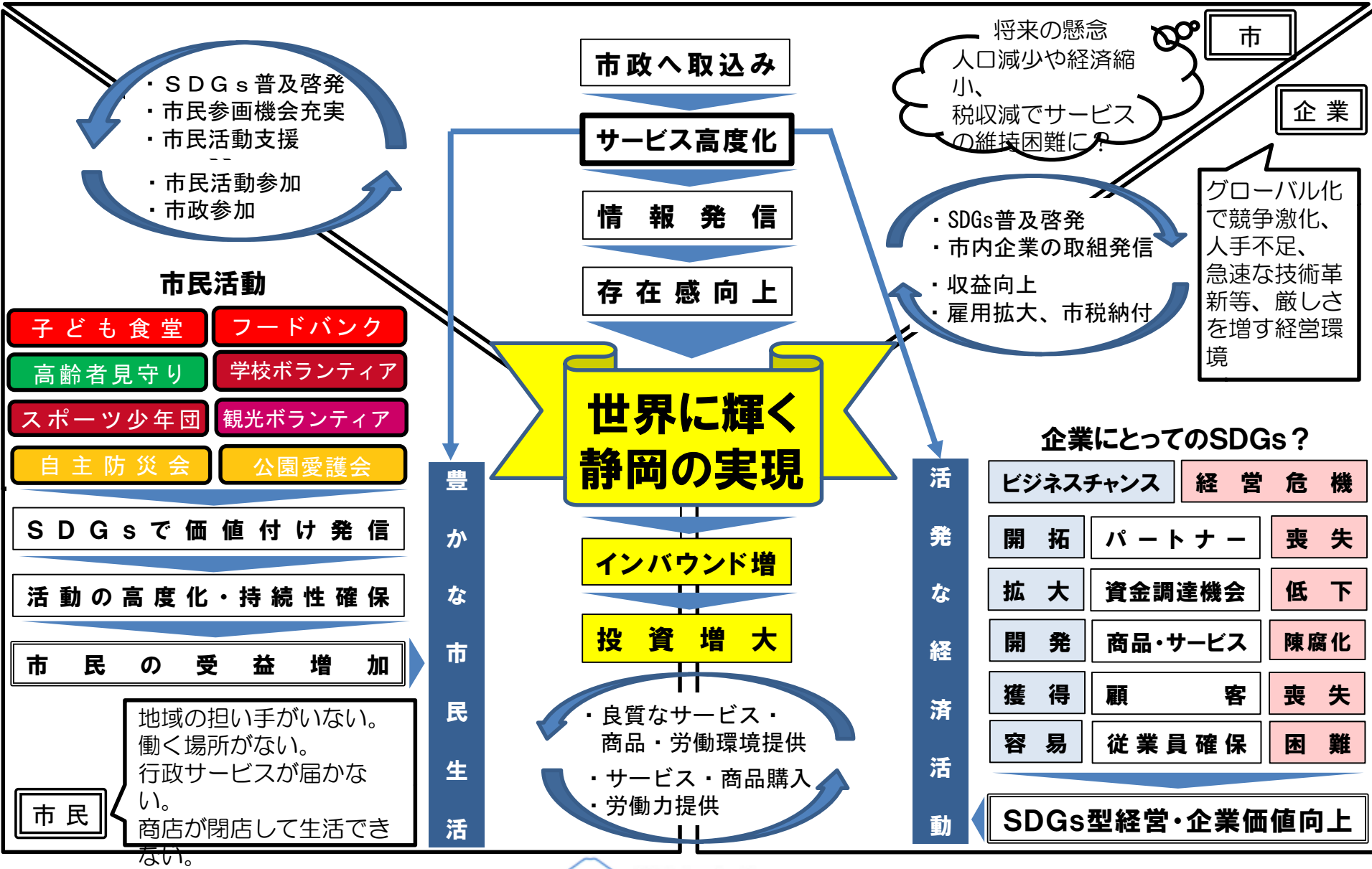
- ・ ICTの発展
- ・ 科学技術イノベーション



+

バックカスティング

静岡市の取組み(1)



静岡市の取組み(2)

- 1 市政への組込み
- 2 普及啓発
- 3 情報発信

市政への組込み 取組み概要

1 基本的な考え方

SDGs を包含する2030アジェンダにまで視野を広め、SDGs を包括的に市政へ組み込む

2 主な取組み

(1) 推進体制の整備

(2) 静岡市SDGs実施指針の策定

(3) 5大構想へのSDGsの組込み

市政への組込み 推進体制の整備

外部有識者組織

庁内組織

静岡市創生・SDGs
推進会議

連携

静岡市創生・SDGs
推進本部

委員16名（産学金等関係）
座長：日詰一幸
静岡大学人文社会科学部長
オブザーバー：静岡県職員

本部長：市長

副本部長：両副市長

本部員：教育長
公営企業管理者
政策官
局長級職員28名

所掌事項

- ・総合戦略及びSDGsの推進に係る意見又は提言に関すること
- ・総合戦略及びSDGsに基づく施策等の効果の検証に関すること
- ・人口ビジョン及び総合戦略の見直し並びに総合戦略に基づく施策等の効果の検証に関し、市長が必要であると認める事項

所掌事項

- ・人口減少対策の推進に関すること
- ・SDGsの推進に関すること
- ・人口ビジョン及び総合戦略の見直し並びに総合戦略に基づく施策等の効果の検証に関し、市長が必要であると認める事項

※ いずれも既存組織を改称し4月1日設置

市政への組込み

静岡市創生・SDGs推進会議開催経緯

日付	会議名等	議事（SDGs関係）等
4/ 1	分科会の設置	SDGs基礎分析分科会、多様な働き方分科会、学生・留学生分科会
5/ 9	第1回SDGs基礎分析分科会	<ul style="list-style-type: none">・ 転入者・転出者へのアンケート調査結果について・ 意見交換
7/11	第2回SDGs基礎分析分科会	<ul style="list-style-type: none">・ 今年度のテーマについて・ 5大構想について
8/22	第3回SDGs基礎分析分科会	<ul style="list-style-type: none">・ 意見交換
10/11	第4回SDGs基礎分析分科会	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市総合戦略の掲載事業について・ 静岡市創生・SDGs推進会議への報告事項について
10/16	第1回全体会議	<ul style="list-style-type: none">・ 分科会の検討結果について<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市版SDGsアワードの制度化 等・ 静岡市のSDGsの取組みについて・ 静岡市政策・施策外部評価委員会の報告について

市政への組込み

静岡市創生・SDGs推進本部会議開催経緯

日付	回数	議事（SDGs関係）
4/20	第1回	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市創生・SDGs推進会議の運営について・ SDGs推進TGCしずおか2019について
7/ 2	第2回	<ul style="list-style-type: none">・ 2018国連NY本部SDGs推進会議について・ SDGsの普及啓発について・ 庁内プロジェクトチームの設置について・ 7月17日 ハイレベル政治フォーラムについて
8/ 9	第3回	<ul style="list-style-type: none">・ ハイレベル政治フォーラムについて・ SDGs推進ウィークについて・ 静岡市SDGs実施指針（案）について
9/ 4	第4回	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市SDGs実施指針（案）について
10/16	第5回	<ul style="list-style-type: none">・ 第1回静岡市創生・SDGs推進会議について・ 駿河区役所のSDGsの取組みについて
12/17	第6回	<ul style="list-style-type: none">・ SDGsウィークについて・ エコプロ2018について・ 静岡市SDGs実施指針（案）について
2/ 6	第7回	<ul style="list-style-type: none">・ SDGsウィークについて（報告）・ 静岡市SDGs実施指針（案）について
3/15	第8回	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市SDGs実施指針について・ 第2回静岡市創生・SDGs推進会議について

市政への組込み 実施指針(策定経緯)

第3回静岡市創生・SDGs推進本部会議 (30.8.9)

- ・ 静岡市SDGs実施指針(案)について

第4回静岡市創生・SDGs推進本部会議 (30.9.4)

- ・ 静岡市SDGs実施指針(案)について

第6回静岡市創生・SDGs推進本部会議 (30.12.17)

- ・ 静岡市SDGs実施指針(案)について

第7回静岡市創生・SDGs推進本部会議 (31.2.6)

- ・ 静岡市SDGs実施指針案について

第8回静岡市創生・SDGs推進本部会議 (31.3.15)

- ・ 静岡市SDGs実施指針の決定報告

市政への組込み 実施指針概要(1)

前分

第1 実施指針の位置づけ

第2 取組姿勢

1 市政への組込み

2 普及・啓発

3 情報発信

第3 職員の業務遂行

1 日常業務

2 ステークホルダーとの連携

3 所属長

第4 各局・区等の取組み

1 5大構想・総合計画

2 個別計画等

3 普及啓発

第5 企画局の役割

1 市政への組込み

2 情報発信

第6 政策・施策とアイコン

第7 S D G s の推進体制

第8 その他

※ シート84～88に全文掲載

市政への組込み 平成30年度当初予算

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	42,000				42,000
前年度予算額					

目的	世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs ^{※1} ）」に他の自治体に先んじて取り組むとともに、その取組を発信することにより、静岡プレゼンスの発揮及び「『世界に輝く静岡』の実現」につなげていく。
----	---

事業概要	<p>SDGsを「『世界に輝く静岡』の実現」に向けたツールとして活用するため、SDGsの市政への組込み及び普及啓発、取組の発信を行う。</p> <p>1 市政へのSDGsの組込み 7,000千円 ○五大構想の高度化に向けた、SDGsの考え方を踏まえた指標の設定 等</p> <p>2 普及啓発 32,500千円 ○SDGs推進に不可欠な若い女性（F1層）の取組を引き出すための普及啓発として、情報発信力が強いTGC^{※2}を誘致（H31年冬頃） あわせて、本市のSDGsの取組のほか、物産や観光情報等を全国・世界へ発信 ○SDGs教育に取り組む中学校への講師派遣 等</p> <p>3 取組の発信 2,500千円 ○国連カンファレンス会議（5月末、ニューヨーク）での取組発信（調整中） 等</p>
------	---

市政への組込み 平成30年度9月補正予算

★ 本年5月の2018国連ニューヨーク本部SDGs推進会議で本市の普及啓発の取組が評価され、7月のハイレベル政治フォーラムにてアジア初「SDGsハブ都市※」に位置付けられた。これを好機にSDGs普及啓発をさらに推進。

※世界各地のSDGs推進をけん引する都市(カナダトロントなど13都市)

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 SDGs推進事業 (財源:諸収入)	<p>1 SDGs推進ウィーク事業 16,399千円 SDGsの認知度が特に低い女性や若者を主な対象として、ジェンダー平等や環境・資源問題など地球規模の課題解決に取り組む必要性を普及啓発するイベント等を実施 期間 成人式から東京ガールズコレクション開催日までの間(平成31年1月3日～12日) 内容 ①SDGsをテーマとした演技、ダンス等パフォーマンス ②パネル展やプロジェクションマッピングによるSDGs広報動画等の映写 ③SDGsをテーマとしたキッズダンス公演 ④楽しみながらSDGsの本質を理解するカードゲーム大会 ⑤持続可能なまち・社会のために自分ができることを話し合う中・高・大学生によるワークショップ など 場所 市内一円(①) 市役所静岡庁舎、清水庁舎、駿河区役所、静岡駅北口地下広場(②) 調整中(③、④、⑤)</p> <p>2 東京ガールズコレクション連携事業 26,458千円 東京ガールズコレクション(TGC)のコンテンツ力、発信力、企画力を活用し、TGCの観客も含め多くの女性・若者を会場に誘導しSDGsを周知 期日 平成31年1月12日(TGCと同日開催) 内容 ①大学、企業等がSDGs紹介ブースを設置 ②パブリックビューイングによるTGC生中継(調整中) ③TGCモデルによるSDGsの取組紹介(調整中) など 場所 ツインメッセ南館(TGC会場(ツインメッセ北館)に隣接)</p>	42,857

予算編成方針（抜粋）

基本方針 . . . 。また、第3次行財政改革後期実施計画やアセットマネジメントアクションプラン（第1次）を着実に推進するとともに、**SDGsの中長期的な視点を活用し、持続可能な都市経営・行財政運営の実現**を目指して取り組まなければならない。 . . . 。

具体的な取組み③ 要求する事業、特に政策的経費は、**将来のあるべき姿から逆算して現在取り組むべきものとし、現状・課題、目的、事業内容、費用対効果及び効果検証の方法などを整理したうえで要求すること。**

市政への組込み 平成31年度当初予算

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	60,000				60,000
前年度予算額	42,000				42,000

目的	「世界に輝く静岡」を実現し、持続的に発展するまちとするため、国から認証を受けている「SDGs未来都市」として普及啓発に努めるとともに、様々なステークホルダーとの連携強化を図る。
----	--



事業概要	<p>SDGsに関する普及啓発及び各種情報発信を行い、「世界に輝く静岡」の実現を目指す。</p> <p>1 普及啓発 58,520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (仮称) TGC しずおか 2020 for SDGs ○ TGCしずおか連携事業 TGCと連携した普及啓発イベントの開催 ○ 優良企業表彰制度 持続可能な発展に寄与する取組を行う企業・団体等の表彰 ○ その他 各種普及啓発事業の実施 <p>2 その他 1,480千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種調整旅費、消耗品など
------	--

1 計画期間

平成31年度(2019年度)～平成34年度(2022年度)

2 抜粋

第1 序説

3 後期実施計画の策定

～(略)～

今回策定した後期実施計画は、原則として、平成27年2月に策定した前期計画を踏襲し、計画的に取り組む主要な施策及び事業を掲載しています。

また、最優先に取り組む施策群として、本市が有する「オンリーワンの資源」を最大限に活用し、みがきあげ、町の価値創造力を高めていくため、平成28年2月の静岡市議会2月定例会の施政方針において示した「5大構想」を新たに明示しました。

5大構想の推進にあたっては、SDGs(エス・ディー・ジーズ)という世界共通のものさしで設定された大きな目標を組み込み、活用することで、5大構想をさらに加速させ、「世界に輝く『静岡』の実現」に繋がります。

市政への組込み 5大構想への組込み

1 5大構想

前葉の記載のとおり、3次総の推進に当たり、最優先に取り組む次に掲げる施策群(詳細はシート31～35参照)

- (1)歴史文化の拠点づくり
- (2)海洋文化の拠点づくり
- (3)教育文化の拠点づくり
- (4)「健康長寿のまち」の推進
- (5)「まちは劇場」の推進

2 目的

SDGsという世界共通の目標で設定された大きな目標を組み込み、活用することで、5大構想をさらに加速させ、「世界に輝く『静岡』の実現」につなげること。

3 実施体制等

大学・企業との共同研究として進める。

4 作業スケジュール

平成30年度 5大構想のうち「健康長寿のまち」の推進についての検討に着手
平成31年度末 5大構想全てについての作業を完了させる予定

市政への組込み 情報収集等

地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて



平成30年6月29日
内閣府地方創生推進事務局



市政への組込み 職員啓発(1)

名称等	時期	対象等	備考
技術職員勉強会	6/5	都市局及び建設局の課長職以上の職員	美濃部副市長主催、各課の取り組みの報告等
庁内研修会	7/9	幹部職員31名及び市議会議員29名	慶応大学蟹江教授講演会
勉強会	8/22	市職員約50人及び市民約30人	IIOE「人と組織と地球のための国際研究所川北秀人代表講演会
駿河区研修会	8/31	駿河区職員74人	企画局次長による講義
職員向け情報誌	8月～	市職員及び市議会議員	隔週で発行
派遣研修	11/30～	市民局職員1名	カードゲームファシリテータ資格取得
市民局研修会	12/25	市民局職員20人	市民局職員指導によるカードゲーム
夜間講座	2/13	希望職員15人	自主講座としてカードゲーム実施



技術職員勉強会



駿河区研修会



職員向け情報誌

市政への組込み 職員啓発(2)

TGC for SDG及びSDGsウィーク事業への職員の参画

○庁内公募による若手職員11名及び広報課職員

○3部会を設置し、各事業の企画及び運営

- ・北館活用部会
- ・南館活用部会
- ・ウィーク部会

○南館部会には、学生サークルも参加

○(株)W TOKYO、(株)静岡新聞社のほか各事業に参加するステークホルダーとの協議・調整も実施

○所属職場等でのSDGs周知

市政への組込み 個別計画例(1)



2 世界共通目標を踏まえた対応

平成27年9月の国連サミットで採択されたアジェンダ（SDGs）に採択された、世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）（※21）について、日本としても、国や地方自治体等の各関係機関で積極的に関与しているところです。

SDGs（持続可能な開発目標）には、17の目標が掲げられており、本計画において八入は、特に「健康」すべての人に健康と福祉を」の目標が関係しているといえます。

健康長寿世界ーを目指す静岡市として、このSDGs（持続可能な開発目標）も踏まえて、今後計画を展開してまいります。

※21 アジェンダ：行動計画
 ※21 SDGs（持続可能な開発目標） 外務省HPより

2016年に採択されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年8月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されたいことを誓っている。

※21は開発途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

第5章

17の持続可能な開発目標（SDGs）のアイコンが並べられています。

市政への組込み 個別計画例(2-1)



静岡型水素タウンの実現に向けて

水素は、水などの化合物として地球上に無尽蔵に存在し、

利用段階では二酸化炭素を排出しないため

「究極のクリーンエネルギー」として期待されています。

このパンフレットでは、水素社会に取り組む意義と

静岡市の取組内容について紹介します。



静岡市が進める水素エネルギーへの取組

HH 静岡市が水素エネルギーに取り組む理由

静岡市が水素エネルギーに取り組む主な理由は、次の4点です。

地理的優位性

国際貿易港「清水港」を有するとともに、首都圏・中京圏・内陸部へもアクセスが容易なため、水素供給拠点の整備にあたり地理的に優位

地域経済の活性化

早期に水素エネルギーに取り組むことで、民間投資を呼び込み、新たな産業や雇用を生み出し、地域経済を活性化

安心・安全

電気やガスなどに加え、水素エネルギーを利活用することでエネルギー源の多様化を図り、安心・安全なまちづくりを推進

地球温暖化対策

市内に存在する国内最大規模のCO₂フリー水素（再エネを活用し水の電気分解で製造した水素のように製造時にCO₂が発生しない水素）を活用することでさらなる地球温暖化対策を推進

HH 静岡市が目指す姿

静岡市には、水素ステーションで製造される水素や事業活動から副次的に発生する国内最大規模のCO₂フリー水素が存在しています。

このため、次の3点を踏まえながら、市内に存在する水素や将来海外から輸入される水素などを市域全体で利活用していく「静岡型水素タウン」の実現を目指します。

静岡市域内に存在する水素エネルギーを利活用した地産地消体制の構築

市内に存在する水素を市域内で利活用していくことで、エネルギーの地産地消を進め、域外に流出していたエネルギーの購入資金を域内で循環させることを目指します。

他都市へ水平展開できるビジネスモデルの構築

静岡市域は、山間部・都市部・港湾部を有し、日本の国土縮図型都市とも言われています。各地域特性に応じた水素エネルギーのビジネスモデルを構築し、エネルギー産業の創出を図り、静岡発の取組を他都市へ広めていくことで、日本全体での「水素社会」の実現を目指します。

CO₂フリー水素利活用モデルの構築

国は、2050年までに温室効果ガス排出量の80%削減を目指しています。

市内に存在するCO₂フリー水素の利活用したモデルを構築し、他都市にも展開していくことで、脱炭素化社会の形成を目指します。

市政への組み込み 個別計画例(2-2)

取組にあたっての基本的視点

水素エネルギーの利活用に向けた取組を進めるにあたっては、従来の目的から逸脱することがないよう、共通の視点を持つことが重要となります。

また、静岡市は、世界水準の都市「世界に輝く静岡」の実現を目指すうえで、世界共通の目標であるSDGsの考え方を取り入れ、目標を達成するための推進力として活用していきます。

【共通の視点】



SDGs (持続可能な開発目標)とは

2015年9月の国連サミットで採択されたアジェンダに記載される2016年から2030年までの世界共通の目標であり、「17のゴール」と「169のターゲット」から構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」社会の実現を目指しています。



目標を達成するための各プロジェクト

「静岡型水素タウン」の実現に向けて、静岡市の地域特性ごとのプロジェクトを進めていきます。

また、水素エネルギーの需要拡大に向けては、市民・事業者の皆さんのご理解も欠かせないため、地域特性によらない共通のプロジェクトも同時に進めていきます。



市政への組み込み 個別事業の展開

平成30年10月1日 市長定例記者会見資料

使い捨てプラスチックから環境負荷の低い製品への転換を目指して

～国際海洋文化都市・静岡を実現した持続可能なまちづくりへ～

1. 取組の概要

世界の動向



漂着ごみ



医療系ごみ ※環境省「フレット」より

- 海洋ごみ（特にマイクロプラスチック）の課題が顕在化
- 海洋資源のみならず生態系への影響も懸念
- スターバックスやマクドナルドなどは、プラスチック製ストローの廃止を発表
- EU各国も脱プラスチックに向けた取組が加速

本市の動向



水源の保全活動

- 本市は、豊かな自然環境により経済成長を遂げる
- 特に港町清水は、港とまちが一体となって発展
- 5大構想の一つとして「国際海洋文化都市」の実現を目指す
- 2021年には、アジア初「国際深海生物学会」を開催

「国際海洋文化都市」を目指す本市は 他都市に先駆け海洋環境を守るための行動に着手 ～使い捨てプラスチックから環境負荷の低い製品への転換～

SDGs 未来都市である本市は、使い捨てプラスチックからの転換に向けた取組を通じ、経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組を進めていくことで高い相乗効果を創出

2030年の目指すべき姿

経済

8 働きがい 経済成長

9 産業と地域経済の活力強化

12 つくばる 消費の責任

社会

2 健康な生活

4 質の高い教育をみんなに

環境

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

＜海洋・エネルギー産業の活性化＞

- 【海洋文化拠点施設の魅力向上】
- 多様なコンテンツ創出に伴う集客力の強化
- 【新産業の創出による地域経済の活性化】
- 使い捨てプラスチック代替製品開発による新産業の創出

＜安心・安全なまちづくり＞

- 【快適な住環境の創出】
- 投棄ごみの削減に伴う快適な住環境の確保
- 【安心・安全な食の実現】
- 海洋ごみを削減し、安心・安全な食の確保

＜地球環境と海洋環境の保全＞

- 【地球環境の保全】
- 使い捨てプラスチック削減による温室効果ガス排出量削減
- 【海洋環境の保全】
- 使い捨てプラスチックの排出抑制による海洋環境の保全

＜安心・安全な食＞

バイオプラスチック

海洋文化拠点施設

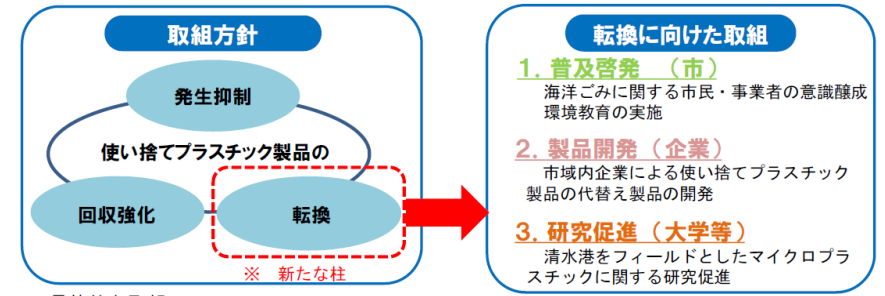
安心・安全な食

代替製品例：バイオプラスチック

海洋資源の保全

快適な住環境

2. 今後の取組方針



3. 具体的な取組

＜第一段階＞
【普及啓発】(市)

S-PULSE DREAM PLAZA 紙ストローお試しの日 in清水

日時：平成30年10月7日（日）～8日（月祝） 10：00～

場所：エスパルスドリームプラザ（3店舗）、ベイドリーム清水（7店舗）

概要：協力店舗での紙ストロー試用、アンケート調査等 ※ 詳細は別紙資料のとおり

対象施設の拡大

SDGs推進ウィーク（仮）次代へ繋ごう海の未来(たから)

日時：（予定）平成31年1月3日（木）～12日（土） 時間未定

場所：エスパルスドリームプラザ、ベイドリーム清水、セノバ、マークイズ、イトーヨーカ堂、イオン清水店

概要：協力店舗での紙ストロー試用、海洋環境の保全に向けたトークセッション等

※ 詳細については、別途各報道機関に情報提供をします。

取組範囲の拡大

以降、清水港開港120周年記念事業や各種イベントで普及啓発を実施

＜第二段階＞

【製品開発】(企業)

＜市の支援＞

- 開発企業の掘り起こし
- アンケート結果の提供
- 国補助などの情報提供
- 製品開発支援

【研究促進】(大学等)

＜市の支援＞

- 研究企業の掘り起こし
- 企業・大学のマッチング
- 国補助などの情報提供
- 研究支援

担当：環境局（ごみ減量推進課 電話：054-221-1075）
経済局（海洋文化都市推進本部 電話：054-354-2343）

1 目標

市民認知度50%

2 基本方針

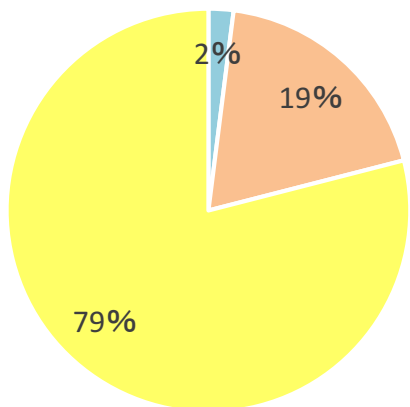
(1) 全庁的な普及啓発

(2) パートナーシップの下での普及啓発

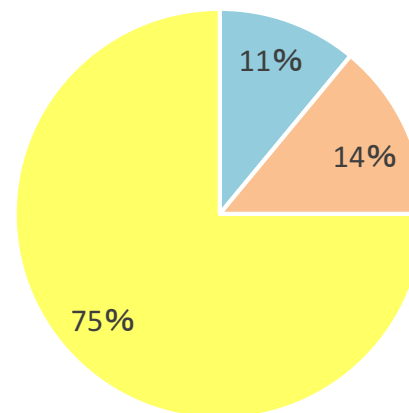
(3) 集中的な普及啓発

普及啓発 認知度調査結果(1)

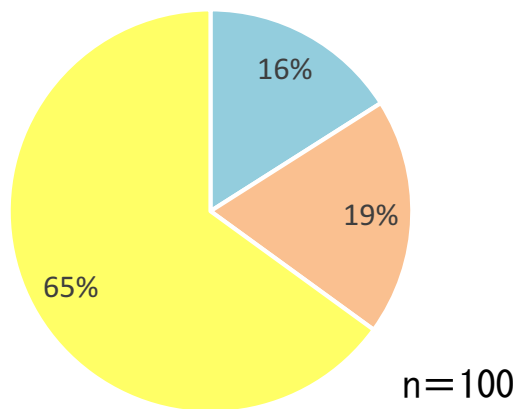
20代から30代女性 (2017. 11)



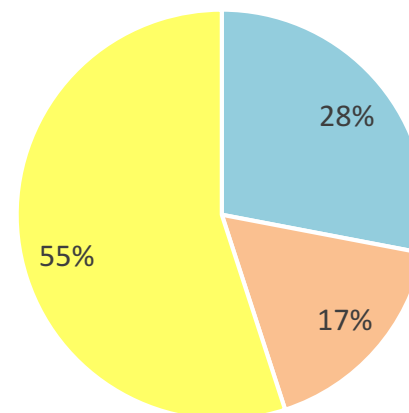
市政モニター (2017. 11)



市内企業 (2018. 5)



市内大学 (2018. 5)



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ まったく知らない

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(1)

平成30年(2018年)

ひろしずおか 特集号2

発行/静岡市 編集/総務局 広報課
〒420-8602 静岡市駿河区金手町5-1
http://www.city.shizuoka.jp/
平成30年5月発行

静岡気分

特集
みんなの力で創る、「世界に輝く静岡」の都市ビジョン
～第3次静岡市総合計画×5大構想×SDGs～

参考経典 静岡の歴史を振り返り、世界水準の未来のまちを展望する

市長室には、徳川将軍家16代当主で静岡藩主を務めた徳川家達公が揮毫した「影往考来(今日まで歩んた道を影かして、明日から歩の未来の道を考える)」という言葉を取った額が飾られています。

この書を頭上に掲げて私は、今日の静岡市を築かれた多くの先人のご苦労に想いを馳せ、明日の静岡市を創る先頭に立つ責任の重さをひしひしと感じる日々を送っています。本年は、明治時代が始まり150年目の節目の年であり、まさに、歴史を振り返り、未来を展望するにふさわしい年だと思います。

一方、21世紀になってもうすぐ20年を迎えます。この間のICT技術の飛躍的な進歩によって、地球の裏側の出来事が、瞬く間に私たちのもとに届けられるようになりました。まさに、地球儀を俯瞰するグローバル時代。静岡市も世界に存在感を示すオンリーワンの都市づくりが求められています。

これら2つの見地から私は、現在の静岡市をめぐる「タテを貫く歴史」と、「ヨコ」に広がる「世界」の両方を意識した「大局観」をもって、平成30年度の市政運営を進めていきます。

この「広報しずおか特集号2」は、昨年「清水のまちなが変わる!」と題して発行した特集号の第2弾です。今号では、葵区、駿河区を主な対象にして、これから静岡市が取り組む政策・施策をできるだけわかりやすくまとめました。ぜひ、皆さんにご意見を伺っていただき、静岡市の未来について考え、たくさんのご意見を寄せて下さることを願っています。1人の100歩より、100人の1歩。活気あふれるワールドクラスの静岡市を目指して、ともに一歩一歩進んでいきましょう。

静岡市長 田辺信宏



市長が5大構想をわかりやすく説明します。しずおかまちづくりセッションを開催! しずおかまちづくりセッション 検索

しずおかまちづくりセッション

奏でよう!
～私たちの歴史 × 私たちの未来～

第3次静岡市総合計画(2015～2022)の後期の取り組みに向けて、葵区と駿河区を対象に、市の掲げる5大構想から「歴史文化」と「健康長寿」を軸としたまちづくり等について、市民が意見を皆さんと聴きます。お気軽にご参加ください。

<p>5/12 (土) 14:00～15:30 英生生涯学習センター (葵区東立東町3-18) 会場: 1階ホール</p>	<p>5/19 (土) 14:00～15:30 東部生涯学習センター (葵区千代田7丁目8-15) 会場: 3階ホール</p>	<p>5/20 (日) 14:00～15:30 奥田生涯学習センター (駿河区寺田131-1) 会場: 1階ホール</p>
<p>5/26 (土) 14:00～15:30 西部生涯学習センター (葵区田町3丁目46-5) 会場: 2階ホール</p>	<p>6/16 (土) 14:00～15:30 駿河生涯学習センター (駿河区小原2丁目25-45) 会場: 3階ホール</p>	<p>6/17 (日) 14:00～15:30 麻原市山田町交流センター 駅前ごころ (葵区千歳2952) 会場: 1階集客室AB</p>
<p>6/23 (土) 14:00～15:30 南部生涯学習センター (駿河区南八幡町25-21) 会場: 1階ホール</p>	<p>6/24 (日) 14:00～15:30 薬科生涯学習センター (葵区茶海本町5-9) 会場: 2階ホール</p>	<p>6/30 (土) 14:00～15:30 教育センター (葵区千歳6丁目17-100) 会場: 2階 中研修室</p>
<p>7/14 (土) 14:00～15:30 大車生涯学習センター (駿河区千代田57-5) 会場: 2階ホール</p>	<p>7/17 (火) 14:00～15:30 井川生涯学習交流館 (葵区井川656-2) 会場: 1階ホール</p>	<p>会場を 持つてまよ!</p> <p>※全会場、手話通訳対応</p>

申込み不要です。直接会場へ! 公共交通機関等でお越しください。

※西・西部 駿河生涯学習センターの3会場は、既完(6か月～3歳児)を廃止します。
※予約が必要ですが、開催日の1週間前までに市コールセンター(☎054-200-4894/☎054-200-4895)に電話またはFAXにて予約してください。(無料)
FAXの場合は、希望日、開催者氏名、子氏氏名、住所、電話番号、子どもの年齢をご記入ください。

〈問合せ〉 会場について(広報課) ☎054-221-1354 内容について(企画課) ☎054-221-1002
広報課メール koho@city.shizuoka.jp 企画課メール ikaku@city.shizuoka.jp

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(2)

1. 第3次静岡市総合計画ってなあに?



言葉は聞いたことがあるけど、よくわからないな～

第3次静岡市総合計画、略して**3次総**は、2015年から2022年までの8年間の市政運営の基本となる計画です。静岡市のまちづくりの目標を「世界に輝く静岡」と設定し、現在の課題、今後取り組んでいく事業など、これから目指すまちへと向かう羅針盤のようなものです。



2. では、「世界に輝く静岡」ってどんなまち?



このまちに暮らす人が「安心感」を持って生活を営むことができ、このまちを訪れる人が「満足感」を持ってひとときを過ごすことができる都市像が、わたしたちの目指す「世界に輝く静岡」のまちの姿です。

静岡市が持つ悠久の歴史や豊かな自然などの地域資源をさらにみがきあげて、世界水準のオンリーワンの都市になれるといいですね。そのために静岡市では「5大構想」のプロジェクトに取り組んでいます。

3. 「5大構想」ってなあに?

「5大構想」は、「世界に輝く静岡」を実現するため、スピード感を持って優先的に取り組んでいく5つのプロジェクトです。

- 世界に存在感を示す3つの都心づくり
- 生活の質を高める2つの仕組づくり

の2つに分類されます。

前者は、

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 歴史文化の拠点づくり(静岡都心地区) | 3ページ |
| 2 海洋文化の拠点づくり(清水都心地区) | 4ページ |
| 3 教育文化の拠点づくり(東静岡・草薙副都心地区) | 4ページ |

後者は、

- | | |
|----------------|------|
| 4 「健康長寿のまち」の推進 | 5ページ |
| 5 「まちは劇場」の推進 | 5ページ |

「5大構想」については、各ページで詳しく説明します。

「第3次静岡市総合計画」の中でも特に重要な「5大構想」を中心にまちづくりを進めていきます。



普及啓発 しずおかまちづくりセッション(3)

4.ところで「SDGs※」ってなあに？



聞いたことないな
なんか難しそうズラ〜

この特集号の表紙に「SDGs」という言葉が書かれているのに気が付きましたか？

実は静岡市では、全国に先駆けて今年度から、

3次総の「5大構想」の中にSDGsを組み込んでいます。

世界中には、たくさんの国や地域があり、経済や産業の中心、文化や芸術の都といわれる、平和を享受する豊かなまちがある一方で、今なお、紛争が起きているまち、貧困に苦しむ地域などもあります。

SDGsとは、国際連合(国連)が提唱した「地球上の誰ひとりとして取り残さない」の合言葉のもとに全ての国や地域が持続的に発展していくために決めた世界共通の17の目標のことです。(右図参照)

先進国も途上国も「この世界を、ずっとみんなで」良くしようという目標とターゲットから構成された、2016年から2030年までのいわば、「**国連版の総合計画**」ともいえます。



用語の解説

※SDGs…2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の頭文字をとった略称

<SDGsのロゴマーク>



目標1:貧困をなくそう

目標2:飢餓をゼロに

★目標3:すべての人に健康と福祉を

★目標4:質の高い教育をみんなに

目標5:ジェンダー平等を実現しよう

目標6:安全な水とトイレを世界中に

目標7:エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

★目標8:働きがいも経済成長も

目標9:産業と技術革新の基盤を
つくろう

★印は静岡市が「5大構想」に
組み込んでいるもの

目標10:人や国の不平等をなくそう

目標11:住み続けられるまちづくりを

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

★目標14:海の豊かさを守ろう

目標15:陸の豊かさを守ろう

★目標16:平和と公正をすべての人に
目標17:パートナーシップで目標を
達成しよう

ふ〜ん、たくさんの
目標があるズラ〜



普及啓発 しずおかまちづくりセッション(4)

5. **3次総**にSDGsを組み込むと何かいいことがあるの？



SDGsは、ぼくたちには、関係ないと思うけど…

SDGsが目指す国際社会の姿は、静岡市が目指す「市民の安心や幸せ」を実現する都市の姿と重なります。

本市がワールドクラスの都市の仲間入りをするためには、より視野を広げて、より視点を高くすることが必要です。

そこでSDGsという世界共通のものさしで設定された大きな目標を**3次総**に組み込んで、「世界に輝く静岡」の実現に向けた推進力として活用することにしました。

「国連の目標」というと私たちの日常生活には関係のないことだと思われてしまいがちですが、決してそんなことはありません。ジェンダー平等^{*}を例に一緒に考えてみましょう！



例えば…

SDGsの目標の一つ

「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」

静岡市では、働き続けたい女性の就労継続とキャリア形成を促進するため、企業や女性を応援する「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」に取り組んでいます。

取組のひとつ、「しずおか女子きらっ☆ブランド」は、女性のアイデアにより生まれた優れた商品を静岡市がブランド認定する事業です。この取組により、企業の認知度が向上し、女性たちのモチベーションやジェンダー平等の実現に繋がっていきます。



ふーん、SDGsって遠い世界のことじゃないんだ。意外に身近な生活と結びついているんだね〜。



静岡市では、こんな取組を進めています

わあ〜楽しみ〜♥



「東京ガールズコレクション(TGC)^{*}」を開催予定!

静岡市では、若い女性に圧倒的な人気を誇るTGCを来年1月に開催する予定です! TGCでは、社会問題に関心が薄いとされている若年層に「SDGsは未来の自分たちの問題」という意識を高めてもらうため、今回初めて、「SDGs推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」(仮)と題して、SDGsを静岡市から全国に発信していきます。



©マイナビ presents TOKYO GIRLS COLLECTION 2018 S/S

用語の解説

※ジェンダー(gender)平等…性別によらず誰もが、自己実現の機会を得られるような社会の実現を目指すものです。静岡市では、ひとりひとりが個性と能力を発揮し、責任を分かち合う男女共同参画社会づくりを推進しています

※TGC…東京ガールズコレクション(TOKYO GIRLS COLLECTION)の頭文字をとった略称。2005年より年2回開催している、史上最大級のファッションフェスタ

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(5)

♪それでは…



はいよいよ、SDGsの目標を取り入れて進めている「5大構想」について説明します。

5大構想

その1:

歴史文化の拠点づくり

16

「SDGs」上の目標では：
平和と公正をすべての人に

徳川家康公は、戦国時代を終わらせ、およそ260年に渡る天下泰平の世を築きました。家康公が晩年暮らした、駿府城公園周辺地区の魅力高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールしていきます。

静岡の魅力を紹介する、 歴史文化施設を整備する



2021年に駿府城三ノ丸(旧青葉小学校跡地)に歴史文化施設がオープンする予定です。徳川家康公や今川氏、東海道などを中心として、本市の歴史を学ぶことができる施設です。また、市民の誇りである静岡の魅力を紹介するとともに、回遊を促進する市内観光の拠点として整備することで、国内外から多くの集客を見込んでいます。



駿府城の天守台を発掘し、 中堀に舟を浮かべる

平成28年度から始まった発掘調査では、発掘現場を常時見学者に公開しています。また、市民や観光客向けの「発掘体験」は、歴史を体感する取組として好評です。現在までの調査で、駿府城天守台が江戸城をしのぐ、日本一の大きさであったことがわかり、大きな話題になっています。さらに、中堀に「葵舟」を周遊させ、脈々と受け継がれた、悠久の歴史を間近で体感できるしかけづくりをします。



アリーナとホールの複合化を視野に、 市民文化会館を再整備する

建設から40年が経過し、耐震性と老朽化に課題がある市民文化会館について、アリーナとホールの複合化を視野に入れ、集客機能を強化し、歴史文化拠点の交流人口拡大の受け皿として、にぎわいを生み出す施設となるよう検討を進めます。また、家康公が築いた「平和」を受け継ぐため、現代の平和の象徴ともいえる「芸術文化」と「スポーツ文化」の創造と充実を目指します。

普及啓発 静岡まちづくりセッション(6)

5大構想

その2:

海洋文化の拠点づくり

14



「SDGs」上の目標では：
海の豊かさを守ろう

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指します。

クルーズ客船を誘致し 海辺のにぎわいを生み出す

昨年、清水港を訪れたクルーズ客船は、前年の約2.4倍と急増しており、今年さらには増加することが予想されます。そこで、県とアジア最大のクルーズ船運営会社が協定を締結し、官民で拠点整備を進めていきます。この追い風を逃さないために、清水港のウォーターフロントを世界の玄関口として整備するとともに、積極的にポートセールスを行っています。



▲クルーズ客でにぎわう清水港

多くのクルーズ客がまちを回遊し、再び訪れたいと思うような、おしゃれて魅力的なまちになるよう、官民が連携してウォーターフロントの整備を進めていきます。海辺の空間、富士山の眺望などを生かし、清水港周辺に新たなにぎわいを生み出すようなまちづくりを進め、経済を活性化させていきます。



▲様々なイベントが開催されるウォーターフロント



世界レベルの 海洋文化施設を整備する



清水区日の出地区に、海洋と地球をテーマとする総合ミュージアムを整備するため、建設用地の確保を進めていきます。研究・教育活動との連携を重視し、東海大学や海洋研究開発機構(JAMSTEC)などと連携して具体的な展示のコンテンツを検討していきます。



▲海洋文化施設展示イメージ

JR清水駅に直結した 新「清水庁舎」を建設する

海洋文化の拠点づくりを実現するための取組の一つが、清水都心への生活機能の集積です。公共交通が利用しやすく、商店街や公共施設などが集積する江尻地区は、商業・業務の中心地として更なる発展が望めます。アンケート調査や、検討委員会の開催、パブリックコメントなどの市民参画を経て作成した基本構想を基に、2022年度の供用開始を目指し、JR清水駅から直結する「清水駅東口公園」に新清水庁舎の建設を進めていきます。

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(7)

5大構想

その3:

教育文化の拠点づくり

4



「SDGs」上の目標では：
質の高い教育をみんなに

近年の社会の変化はあまりに早く、生涯にわたって学ぶことのできる環境整備が必要となっています。JR東静岡・草薙駅周辺地区に、全ての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指します。

大学と連携して、 若者が活躍する場をつくる

様々な出会いや仲間たちとの切磋琢磨が若者の一層の成長につながるから、市内の大学が垣根を越えて連携し、学生自身が企画・運営するイベントを開催することで、まち全体で若者が活躍できる場をつくります。こうした取組を、若者のシチズンシップの醸成や市内定住へとつなげていきます。

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」 を活用する

昨年5月にオープンした「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」では、世界的にも若者に人気のローラースポーツを楽しめる「ローラースポーツパーク」と、開放感たっぷりで様々なイベントに使用できる「芝生広場」が整備されています。

特に2020年東京オリンピック・パラリンピックの正式種目に決定したスケートボードが楽しめる当施設は、全国的にも注目されており、3月には日本代表候補選手の強化合宿が行われました。



▲東静岡アート&スポーツ/ヒロバ



若者が活躍すると
まちが元気になるね～

誰もがいつでも学べる 生涯学習環境を整える



▲ここからネット

「まちづくりは人づくり」と言われるように、様々な学びを楽しみ、学びを活かして行動する市民が増えると、まちは活性化します。市民の皆さんがいつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を活かすことのできる社会づくりを目指すとともに、リカレント教育*の充実にも取り組んでいきます。

本市の人材養成事業の「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」では、新たな講座を加えた18講座で、多様な学びを提供していきます。また、市民による活動情報を提供するウェブサイト「ここからネット」を開設し、市民の皆さんが地域活動に参加できる仕組みをつくります。学習する機会や活動につながる情報を提供し、市民が自ら行動できる環境を整え、まちづくりに関わる人づくりを進めていきます。



用語の解説

※リカレント教育…社会に出たあとも、生涯にわたって、学校や教育機関などで学習できる教育システムのこと

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(8)

5大構想

その4:

「健康長寿のまち」の推進

3

「SDGs」上の目標では：
すべての人に健康と福祉を

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現します。

「健康長寿世界一の都市」 を実現する

市民の健康度を見える化し、健康意識を高めるとともに、知[社会参加]、食[食事]、体[運動]を軸とした取組を進め、一人ひとりが自らの健康を意識し、自然に健康長寿を実現できるまちを目指します。

自宅でずっと安心して 暮らせる仕組みをつくる

本人や家族の希望に応じて、住み慣れた場所、特に自宅で、ずっと安心して暮らせるまちを実現するため、身近な地域(小学校区程度)で、医療・介護の専門職や地域、市民が連携する仕組みをつくり、「静岡型地域包括ケアシステム」の構築を目指します。



ずっと健康なら
みんな笑顔で暮らせるね
トロペーと一緒に
笑顔をつないでゆこう〜♪

＜静岡型健康長寿のまちづくりの全体像＞

富士山型で構成される各層の取組を進めることにより、健康長寿社会の世界モデルとなるまちづくりを進めます。



生涯活躍のまち(CCRC※)を モデル地区で本格実施する

地域の誰もが健康でアクティブに生活し、社会活動へ参加することなどを通して、生涯活躍できる環境づくりを推進します。「葵おまち地区」(6ページ)、「駿河共生地区」(7ページ)の2つのモデル地区において、健康長寿のまちづくりに取り組みます。



▲高齢者が教える
小学生向けの工作教室

用語の解説

※CCRC…Continuing Care Retirement Communityの略で、仕事をリタイアした人が健康で活動的に暮らし、必要な場合は介護などのケアも継続的に受けられるようなまちづくりのこと

普及啓発 しずおかまちづくりセッション(9)

5大構想 その5: 「まちは劇場」の推進

8 [SDGs]上の目標では:
働きがいも経済成長も

地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かし、おまちに出かければ、いつも何かが起こる、「わくわくドキドキ」する、そんなまちづくりを進めることで地域経済の活性化を図るとともに、ここに暮らす誇りと喜びを感じることでできるまちに成熟させていきます。

まちのあちこちで、 人が集まる公共空間をつくる



普段の何気ない街角を舞台としてパフォーマンスが行われる「ストレンジロード」、姉妹都市カンヌの映画祭に合わせて行われる「シズオカ×カンヌウィーク」、全国から注目されている「富士山コスプレ世界大会」など、本市には魅力的なイベントがたくさんあります。これらのイベントをさらにみがきあげ、人を呼ぶ仕掛けづくりをしていきます。

文化・クリエイティブ活動に 取り組む人々を応援する

わくわくするね



文化・クリエイティブ産業の振興のため、クリエイターの育成・支援を行い、地域経済の活性化や雇用の拡大につなげていきます。

また、大道芸や、音楽、演劇などが日常の風景となり、一人ひとりが文化活動に参加し、自らを主役として輝かせることができるよう、様々な活動を応援していきます。



▲大道芸ワールドカップ



▲富士山コスプレ世界大会
in 清水駅前銀座商店街



◀まちかどコンサート

本市が誇るイベントを 首都圏にPRする

市内外から多くの人を呼び込めるポテンシャルを秘めた本市の魅力的なイベントを、首都圏などで戦略的にPRしていきます。

多くの人が行き交う首都圏の駅などで、人目を引くクラウンとともに「大道芸ワールドカップ」のプロモーションを実施したり、SNSでの拡散をねらい、タイムリーに情報提供するなど、より多くの人々が静岡市を訪れてくれるよう、情報発信力の強化に取り組んでいきます。



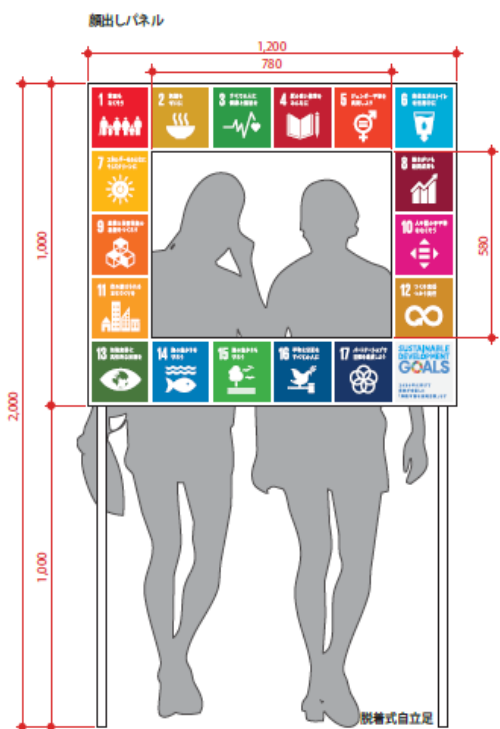
▲新宿駅でのプロモーション

それでは、次のページから
葵区と駿河区がどんな風に
変わっていくのか、見ていきましょう。





あさひテレビ祭りにて、市民の方々にSDGsの普及活動を実施





2015年4月から放送
2018年毎週日曜日
16:25～16:30

静岡のチカラでは、「静岡を元気に!」、「子供たちの未来のために!」を合言葉に、親しみをもっていただける番組をお届けしております。また番組では、SDGsの普及活動の一環として、SDGsの取り組みを放送しております。

— これまでの放送内容 —

第1回「静岡市 × SDGs」



第1回は、SDGsを取り込んだ5大構想を発表した静岡市の取り組みについて紹介。SDGs未来都市に選定された静岡市において、田辺市長や市職員にお話を伺いました。



田辺市長へのインタビュー抜粋



Q) どのような理由で、市政にSDGsを取り込んだのでしょうか?
A) 静岡市で、70万人の市民に対してこのSDGsと協力をして誰もが安心安全に暮らせるそんな地域社会を作って行こうと、市政にSDGsを取り入れています。

静岡市企画課へのインタビュー抜粋

Q) 静岡市ではどのようなSDGsへの取組をされていますか?
A) 静岡市の取り組みは、大きく分けて2つございます。1つは「世界に輝く静岡」のために推進している5大構想3次総合計画にSDGsを組み込むこと、もう1つはSDGsを市民の皆様にご存知いただくという普及啓発の取り組みになります。



普及啓発 静岡市 × SDGs × メディアプロジェクト(4)

- SDGs 普及啓発イベント「SDGs COLLECTION presented by TGCしずおか2019」においてメディアプロジェクトコーナーに民放4局及びケーブルテレビ1局が揃ってブース出展
- 各社ブースの共通看板を掲示するとともに、所属アナウンサーによるリレートーク番組（約1分30秒）を作成し、上記イベントで上映

※ 民放4局及びケーブルテレビ局

静岡放送(株)、(株)テレビ静岡、(株)静岡朝日テレビ、(株)静岡第一テレビ、(株)TOKAIケーブルネットワーク



SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**静岡朝日テレビは
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**静岡新聞社・静岡放送は
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**Daiichi-TVは
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**テレビ静岡は
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**TOKAIケーブルネットワ
ークちゃんねる静岡は
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs × 静岡市 ×メディア プロジェクト



**NTTデータ経営研究所は
静岡市のSDGs推進を
応援しています!**



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

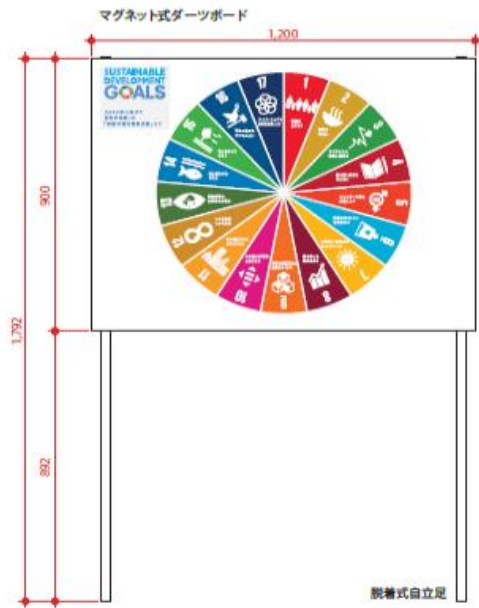
普及啓発 地方創生カレッジ「官民連携講座」in 静岡

項目	内容等		
日時	平成30年3月13日（火）10:00～15:00		
会場	静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム		
参加者	53名 自治体関係者、民間企業、大学生等		
概要等	<p>「地域の困りごとからつくる官民協業モデル」</p> <p>基調講演 蟹江憲史 慶応大学大学院教授</p> <p>ワークショップ 玉村雅敏 慶応大学教授</p> <p>横田浩一 慶応大学教授</p>		



普及啓発 静岡朝日テレビまつり

項目		内容等
日時	平成30年9月22日（土）～23日（日）	10:00～17:00
会場	青葉イベント広場	
参加者	1,002名（ダーツゲーム参加者）	
概要等	SDGsダーツゲーム、パネル展示等	
パートナー	リコージャパン(株)静岡支社、常葉大学、ココア（静岡県立大学サークル）、(株)NTTデータ経営研究所、(株)静岡朝日テレビ	



普及啓発 エコプロ2018学生派遣

項目	内容等
日付	平成30年12月9日（土）
会場	東京ビッグサイト
参加者	100人
概要等	静岡市も出展したエコプロ2018の主催者が市内中高大学生を同イベントに招待、参加したサレジオ高等学校の教師及び学生と市職員とがステージでSDGsエンタメショー寸劇を披露
パートナー	(株)日本経済新聞社、静岡大学、常葉大学、静岡英和学院高等学校、静岡サレジオ高等学校、(株)静岡朝日テレビ、片川乃里子（フリーアナウンサー）、(株)NTTデータ経営研究所



普及啓発 匠宿 de マルシエ

項目	内容等
日付	平成30年12月22日（金）～24日（日）
会場	駿府匠宿
参加者	—
概要等	和染め体験、パネル展示、チラシ配布等
パートナー	駿府匠宿



項目		内容等
日 時	平成31年2月8日（金）13:55～14:50	
会 場	静岡市立末広中学校	
参 加 者	同中学校在校生	
概 要 等	EXILE ÜSA氏によるSDGs講和及びダンス教室 平成32年度から本格的に展開するダンス教育のキックオフイベントとして実施	
パートナー	(株)LDH JAPAN、(株)dance earth、静岡市立末広中学校	



普及啓発 学校への出前講座

日付	学校名	人数
6/18	常葉大学法学部	50
6/19～26	静岡英和女学院高等学校	100
7/17	常葉大学法学部柴ゼミ	10
8/30	静岡デザイン専門学校	500
9/20	静岡市立安東小学校	150
9/21	静岡市立中学校生徒会担当教員説明会	43
9/26	静岡市立清水第六中学校生徒会	26
9/29	常葉大学法学部	30
11/ 8	静岡市立豊田中学校	35
11/29	静岡産業大学（静岡県藤枝市）	20

普及啓発 企業への出前講座等

日付	企業名等	人数
8/22	SDGsセミナー in 静岡 主催：静岡県地球温暖化防止活動推進センター	180
9/ 6	元市議会議員研修会	20
9/ 8	静岡環境大学講演会（講師：佐藤真久東京都市大学教授）	15
9/10	静岡放送株式会社及び株式会社静岡朝日テレビ	10
9/25	静岡県自動車会議所	5
9/27	静岡特産工業協会	4
10/20	I. R. Mダンスアカデミー	30
11/20	静岡経済同友会地域活性化委員会	10
1/10	株式会社静鉄ストア	80
1/15	清水銀行中部支店ブロック会議	30
3/22	中小企業にとってのSDGsセミナー 主催：静岡信用金庫	50
3/26	株式会社静鉄アド・パートナーズ	50

普及啓発 静岡青年会議所との連携(1)

日付	名称	概要等
4/25	例会	市民も参加してのカードゲーム大会、職員派遣
8月	国連子ども大使派遣	市内中学生、候補者募集に協力
9/13	葵区小中学校長会議	J C 会員による活動報告等
9/19~	S D G s for School	市立学校を含む市内6小中学校に会員を派遣しての特別授業
11/14	中学校長会会議	J C の協力によるカードゲーム
11/15	職員向け情報誌 No5	J C の活動を紹介
1/ 9	S D G s for School	常葉大学との協働による高校生及び大学生を対象とした学習会

普及啓発 静岡青年会議所との連携(2)

職員向け情報紙

What's your SDGs?

第5号

平成30年11月15日
企画課

SDGs推進には全ての主体の集結が求められていますが、市内では積極的な活動を見ることもできません。例えば静岡青年会議所は、SDGs普及推進に向けて市内小中学校に会員を派遣し特別授業を行っています。

というわけで今回は、インタビュー形式で静岡青年会議所の取組みを紹介します。

司会 まずは、自己紹介をお願いします。

松浦委員長 静岡青年会議所(静岡JC)の松浦です。静岡青年会議所は、若者の力で明るく豊かな社会を築くことを目指し様々な活動を進めています。私は、青少年育成に取り組むグローバルリーダー育成委員会委員長を仰せつかっています。



松浦高明 氏
「真無臭」を提案する消臭剤メーカー株ハル・インダストリの第一営業部長

司会 貴会議所では、SDGs普及啓発に向けて取り組むこととして問題意識は何でしょうか?

松浦委員長 今年の年頭、私の委員会に対し、静岡JC理事長の栗山からSDGsをテーマにした活動を進めるよう指示されたことに始まります。理事長は、2年前、SDGsに積極的に取り組む日本青年会議所に出向されていたこともあり、非常に高い問題意識があったようです。そこからSDGsを勉強し始めたのですが、重要な問題であり、市民一人ひとりが自分事として捉え行動する必要があるとの考えに至りました。

SDGsに対する市民認知度が低い中、子どもにSDGsを伝え、子どもたちが家庭で大人に伝え、そして大人たちが・・・といった思いを巡らせ、現在の活動に繋げることとしました。

司会 それでは、具体的な取組みをご紹介します。

松浦委員長 今まで、大きく3つの取組みをしてきました。まず、静岡JCの会員約200人に対する理解促進です。今年の4月の例会において、SDGsに対する理解度を高めるための学習会及びカードゲーム大会を開催しました。カードゲームの概要は開発者であるイマココラボがHPで紹介していますが、例会には、後ほど紹介する少年少女国連大使候補児童・生徒及び父兄約80人も参加しました。



【例会】



【少年少女国連大使と記念撮影】

次に、国連大使候補生の選定です。

日本JCは、国内の各JCが推薦する子ども国連大使候補生から日本代表を選出し、国連に派遣する事業を行っています。我々が推薦し日本代表にも選ばれた中学校3年の生徒は、ジュネーブの国連欧州本部に派遣され、国連職員からSDGsの講義を受け、他国の若者との交流等も行ってきました。帰国後、生徒本人が田辺市長に直接報告したほか、所属する中学校で成果発表会が開催されました。

静岡市代表の選考過程から成果発表会まで、関わった児童・生徒には、SDGsを考える良い機会になったと考えます。

3点目の取組みは、SDGs for Schoolです。これは、市内小中学校(5中学校、1小学校、計12クラス)へ会員を派遣し特別授業を実施したものです。

特別授業は、まず、静岡JCの仲間が開発した双六で遊ぶことから始まります。人生ゲームが最初に職業を決めるように、双六でも、費の目でプレイヤーが生まれる国(先進国であるA国、開発途上国であるB国)を決めてスタートします。

A国民は快適かつスピーディにゴールに到達できるのに対し、B国民は苦難の連続で3歩進んで2歩下がる、なかなかゴールできません。この双六をとおり、子どもたちは、我々とは異なり、国によっては生まれながらにしてハンディを負っている人たちもいることを肌感覚で理解します。

そこから、SDGsの説明へと入ります。



【特別授業①】

この問題を解決するために、国連がSDGsを採択し、世界中の様々なところで活動が始まっていることを子どもたちに伝えたくて、自分たちには何が出来るのか、グループワークします。

参加した子どもたちは素直に、そして真剣に考え、グループワーク後には今後の取り組みたいことなどを発表し、特別授業は終了します。

司会 市がSDGsへの取組みを進める中での大変心強い活動ですが、子どもたちや学校の反応などの手応えはいかがでしたか。

松浦委員長 子どもたちは「SDGsを知れて良かった。」「節電など、できることを始めたい。」、さらには、「両親にも伝えたい。」などの意見が寄せられました。大袈裟ではありませんが、SDGsにとどまらず、学ぶことの喜びなどまで伝えることができたかと感じています。

また、11月14日の静岡市校長会中学校部会教育講演会において、冒頭紹介したSDGsゲームを校長先生方に体験して頂きました。今後、校長先生からSDGsを伝えていただくことで認知度向上とともに、問題解決のための行動機運が醸成されていくと思います。

我々を受け入れてくださり、さらに新たな活動に展開していく、教育委員会の皆さんや先生方には深く感謝しています。

司会 最後になりますが、松浦さんやお仲間の会社での取組みをお聞かせください。

松浦委員長 残念ながら、今の段階で経営方針等にSDGsを組み込んでいる会社が多いとはいえません。今後の大きな課題であると考えます。

弊社は空気環境を整える消臭剤を製造していますが、SDGsを意識して公害対策、特に悪臭対策に技術転用していくことなども考えています。

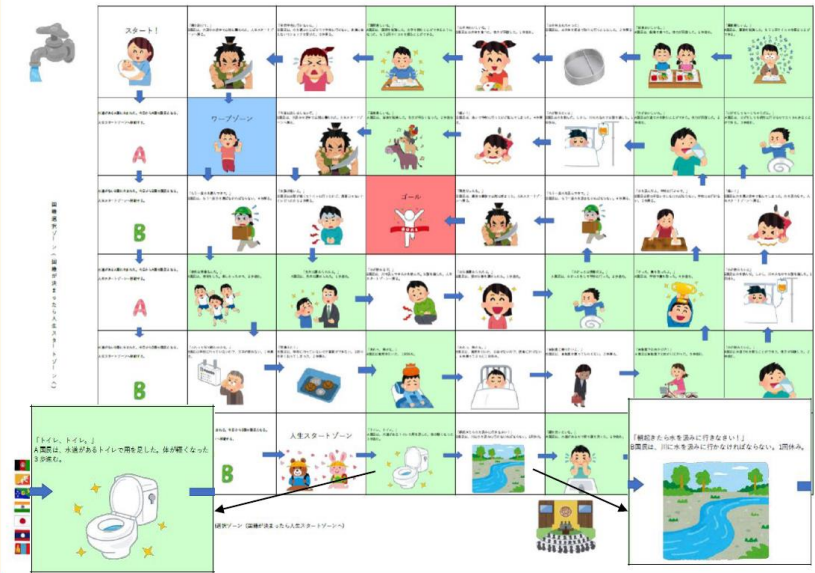
司会 ありがとうございます。SDGsは勿論ですが、学校の方には、「静岡市にはみんなの健やかな成長を願うカッコいいお兄さん、お姉さんがたくさんいる」ことを子どもたちに伝えてほしいですね。



【特別授業②】



【特別授業③】



普及啓発 地域課題解決事業

項目	説明等
概要	行政が提示する地域課題に対し、その有する知見等を活用するとともに学生によるフィールドワーク等を通し解決策を提示する大学に対し補助を行う。
地域課題	市内企業に対するSDGsの普及啓発
採択校	常葉大学
提言	3月の報告会で提言

2018 常葉大学
 地域課題解決事業
 持続可能な地域と企業

企業が持続可能な経営には、継続した業務が不可欠です。これからの企業で活躍しようとする学生と地域の企業間で、持続可能な発展について語ります。

日時 9月29日(土) 11:00~13:00

「持続可能な開発目標(SDGs)と企業」
 榮 由花(常葉大学 法学部 教授)
 事例報告 企業の持続可能性を高めるための取組み
 鈴与株式会社
 富士農商事株式会社
 交流会 学生と企業とのSDGs交流会

場所
 常葉大学静岡水尾キャンパス
 住所: 静岡県静岡市清水区水尾1-1-20
 ■お問い合わせ
 Tel:054-297-3200(新田)

定員: 200名 申込み不要・無料
 公共交通機関でおいでください。

普及啓発 市広報紙新春号(1)

平成31年(2019年)
1 月号

ひと・まち・暮らし

静岡気分

広報しずおか No. 322

発行/静岡市 編集/総務局 広報課
〒420-8602 静岡市葵区湯子町5-1
<http://www.city.shizuoka.jp/>
● 届いたよきは 静岡市コールセンター
(〒420-6894 毎日4:00~20:00)

エス
デー
ジー
ズ
S
D
G
S
元
年

私が
彩
る
静
岡
の
未
来

静岡市 × 静岡デザイン専門学校 × SDGs

2019年 成人式実行委員会とSDGs啓発をしている東立大学の皆さん。 豊前威力-日本平ホテル

謹賀新年



静岡市長 田辺信宏

- もっと身近に! SDGs 02~05
- 市政2018年を振り返る/財政事情 06~07
- 女子きらっ☆ブランド認定/企業表彰 ほか 08
- 健康ひろば/お知らせ ほか 09~15
- きらっと/起点としての80年代 ほか 16

皆さま方におかれましては、希望に満ちあふれる新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、昨年中は、市政への温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、私は、SDGsを強力に推進し、その普及啓発に取り組んでいくと強く誓いました。SDGsとは、2015年に国連サミットにおいて採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、「地球上の誰一人として取り残さない」との合言葉のもと、2030年までに達成すべき世界共通の17の目標です。

国連や地球と聞くと、自分には関係のない話と思われるかもしれませんが、しかし、SDGsが目指す国際社会の姿は、「市民の安心や幸せ」のために本市が目指す都市の姿と重なるものとい

えます。実際、本市は、第3次総合計画に、SDGsを組み込むことに取り組んでおり、これが評価され、昨年、国から「SDGs未来都市」に、さらに国連からはアジア初のハブ都市にも選ばれました。

また、本年1月3日の成人式から12日までを「SDGsウイーク」と銘打ち、「SDGs推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」※などの様々なイベントを市内各所で展開していきます。新年の始まりに、少し難しそうなおSDGsに、まずは楽しみながら触れていただき、さらに、そこから一人ひとりの行動の変化につながっていくことを期待しております。

折しも本年は、新たな元号が始まる年です。新春のSDGsウイークを機に、市民の皆さんの意識が変わる、まさに、皆さんにとってのSDGs

元年になれば、これほどうれしいことはありません。

結びに、ますますの市政へのご理解と一層のご参画をお願いするとともに、皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

※TGCは、「TOKYO GIRLS COLLECTION」の略。2005年から開催されている史上最大規模のファッションフェスタ。今回、静岡に初上陸となる。



▲ニューヨーク国連本部にて アンワールK. チャウドリー国連大使と

普及啓発 市広報紙新春号(3)

2 | 2019年(平成31年)1月号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)を略してSDGsといいます。



▲2019年成人式実行委員会の皆さん

エスディー・ジーズ もっと身近に！SDGs



みなさん、こんにちは！私は静岡市企画課SDGs推進担当の静岡未来です。これから一緒にSDGsについて学んでいきましょう。

SDGsとは国連加盟国が合意している持続可能な世界を実現するための17の目標のことです。2030年までの達成を目指しています。開発途上国だけでなく、先進国も含めた全人類の目標ともいえます。

問合せ 企画課 ☎221-1022

第3次静岡市総合計画×SDGs

～「世界に輝く静岡」の実現への一歩～

「第3次静岡市総合計画」詳しくは...

[静岡市SDGs](#) [検索](#)

現在、本市では第3次静岡市総合計画(3次総)に「世界の“ものさし”であるSDGsを組み込んで、市民サービスを今まで以上に向上させるとともに、SDGsの普及啓発・世界への情報発信などに取り組んでいます。

SDGsにいち早く取り組んだ静岡市は、昨年6月にSDGs未来都市(※)として国から選定されました。また、5月には市長が、7月には副市長がニューヨークの国連本部へ出向き、静岡市の取組を説明したところ、SDGsのハブ(拠点)都市として国連から選定されました。ハブ都市になったのは、アジアの都市で静岡市が初めてです。

(※) 全国でSDGs達成に向け、優れた取組を行う29の自治体



清水港周辺の「海洋文化の拠点づくり」をSDGsの視点から見てみよう

分かりやすく、具体例をあげて、説明しますね！

3次総の大きなプロジェクトとしても大構想があります。市では、構想のひとつに「海洋文化の拠点づくり」を位置づけ、清水港周辺に海洋と地球をテーマとする海洋文化施設の建設等を目指しています。この取組はSDGsとどのような関係があるのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

普及啓発 市広報紙新春号(4)

未来さんのSDGs講座

突然ですが、問題です!



市では、「海を守る」ために海の生物を研究するとともに、海について学んでいただく海洋文化施設の整備を目標としています。この取組はSDGsのどの目標に当てはまると思われますか?

14 海の豊かさを守ろう

やっぱり、海だから、これでしょ?

そりゃそうだ!



4 質の高い教育をみんなに

科学的知識を増やすなら、これもあてはまるんじゃない?

H₂O? CO₂? なるほど!



13 気候変動に具体的な対策を

科学的な研究が進むなら、これも関係するんじゃない?

ほくも今それ言おうと思った!

それだ!



正解!

いいわね!



ほかにも、海を汚さないための適切な廃棄物処理や河川で海とつながる森林の保全、科学技術の進歩が、さらに新産業の誕生や雇用の創出などにもつながっていきます。



海洋文化拠点の整備はこうした広い視点で考えながら、進めているんです。

すっごーい

つながり



あっ!

つまり、「SDGsのひとつの目標を進めていいたら、いつのまにか、ほかの色々な目標とつながっちゃった〜!」なんてことになるんじゃない?

そりゃそう!



経済・社会・環境、すべてが繋がっているってことだよ

やっと、いいこと言えたぞ(・∀・)

うんうん♡



それで、それで?

私の取組も、他の誰かの取組と繋がっている!!



すばらしい♡

国や自治体はもちろん、個人の取組だってつながっているよ〜)

感動



私はマイバッグで、使いまわします!

はい!

私は、紙ストローを使います!

ほくもほくも!



完璧ね。それじゃあ、まとめてもらおうかしら!

コホン。





SDGs

SDGsウィークイベント

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
 <h3>SDGsウィーク 2019.1.3~12</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1 静鉄電車ヘッドマーク等「しずまえ×SDGs」 12月17日~1月6日 2 匠宿deマルシェ 12月22日~24日 3 静岡のおまちがSDGsで演出! 12月26日~1月15日(予定) 				3 成人式	4 6 新春♪まちなか エコ祭	5 7 静岡市×SDGs 中学高校大学 ワークショップ
<ol style="list-style-type: none"> 6 海洋ごみ問題を 知ろう ★ SDGsフォトコンテスト Inshizugram 12月17日 				<ol style="list-style-type: none"> 4 静岡市あおい塔ライトアップ 5 SDGsパネル・カラーホイール展示 		
	7 9 静岡けいりん(FI♥)「報知新聞社杯・SDGs杯」	8 10 JICA東京 SDGs吹奏楽団 スペシャルコンサート	9 11 大高生SDGs 学習会	10 12 企業応援セミナー ×SDGs	11 13 ダンス×SDGs ×トーク 14 しずまえフェア 15 静岡市SDGs中学生サミット 16 ダイバーシティin静岡 17 女性のプレミアムカフェ ~プレミアムフライデー×SDGs~ アラ還世代に贈る 今あるお金でどう生きる 問合せ先:静岡市女性会館 TEL.054-248-7330	12 18 SDGs COLLECTION supported by TGCしずおか 2019 P6 19 TGCしずおか 2019 20 海のスクラッチ アート&紙ストロー お試し体験 ~1月13日(日) 21 バノヒカリ 「ヒンメリに未来への想いを込めて」
<ol style="list-style-type: none"> 4 静岡市あおい塔ライトアップ 5 SDGsパネル・カラーホイール展示 						

一部イベントは朝日学生新聞社の協力で市内小中高の生徒が取材します。

☆その他、SDGsウィーク期間中に生涯学習施設で関連イベントを開催予定です。
 詳細はお近くの各生涯学習施設にお問い合わせください。

市立図書館でSDGs特集展示

■ 御幸町 / 9月27日~1月22日	■ 蘆科 / 12月1日~1月15日
■ 長田 / 11月20日~12月9日	■ 清水興津 / 12月1日~1月22日
■ 北部 / 11月29日~12月25日	■ 南部 / 12月11日~1月14日
■ 麻機分館 / 11月29日~1月13日	■ 清水中央 / 12月16日~12月27日
■ 中央 / 11月29日~1月19日	■ 美和分館 / 12月27日~1月22日
■ 蒲原 / 11月30日~12月27日	■ 西奈 / 1月8日~1月31日

詳細については、別紙報告書をご覧ください。

普及啓発 認知度調査結果(2)

- 1 調査日時 : 2019年1月13日(日) 10時から15時まで
- 2 調査場所 : JR静岡駅北口地下街及びJR清水駅西口付近
- 3 サンプル数 : 1,330人(男性 495人、女性 835人)

	補正認知度※1		
	男性	女性	合計
10代以下※2	24.2%	31.1%	27.6%
20代	31.7%	35.5%	33.6%
30代	42.5%	34.4%	38.6%
40代	30.8%	58.5%	44.3%
50代	41.3%	30.9%	36.1%
60代	45.2%	32.5%	38.7%
70代以上	32.0%	34.6%	33.5%
合計	35.3%	37.0%	36.2%

※1 「SDGsを知っている」又は「SDGsアイコンを見たことがある」とした者の比率。

今回のアンケート調査結果による市民認知度を人口統計による市全体の世代別の人口に乗じて、各世代ごとの「推定人口」を算出。前述「推定人口」を人口統計による総人口で除し、補正認知度を算出。

※2 10代以下は未就学児を除く。

1 基本的な考え方

世界が求めるSDGs推進への取組みを積極的に情報発信することにより、本市の存在感を高めていくこと。

2 主な取組み

(1) 会議への積極的な参加

(2) 出講・出稿依頼への積極的な応諾

情報発信 2018国連NY本部SDGs推進会議(1)

5月31日(木) 行程

時刻	内容
11:00~11:15	星野俊也国連日本政府代表部大使・次席常駐代表と面談 (於：国連日本政府代表部) 「日本を代表する指定都市がSDGsに本気に取り組んでいることが重要である。今後、静岡市の取組に期待している。」
15:45~16:40	ウィリアム・ケネディ国連パートナーシップス事務局本部上級職員と面談 (於：ミレニアムプラザビル(国連本部内)) 「日本のSDGs推進には、市長のようなリーダーシップを発揮できる人が必要である。国連として静岡市のために何ができるのか考えたい。」
16:45~17:25	アンワルルK. チャウドリー国連大使と面談 (於：ミレニアムヒルトンNY ONE UN PLAZA ホテル) 「SDGsのモデル都市として、日本中にSDGsを広めてほしい。」



情報発信 2018国連NY本部SDGs推進会議(2)

5月30日(水) 行程

時刻	内容
15:00~18:00	国連NY本部SDGs推進会議(主催:国連の友AP、於:国連本部) 第一部カンファレンス スピーカー 静岡市長、鯖江市長、(株)テクニカン、(株)シャンソン化粧品、神社本庁、 相模屋食料(株)、(株)W TOKYO、(株)ヴィエリス 第二部国連NY本部TGCファッションセレモニー



項目	内容
期 間	平成30年7月9日（月）～7月18日（水）
美濃部副市長出席会議	<p>ローカルガバメント2030グローバルコミットメントのためのマルチステークホルダー会議</p> <p>日 時：平成30年7月17日（火）8時から18時30分</p> <p>会 場：国連NY本部カンファレンスルーム2</p> <p>スピーチ内容：ジェンダー平等の実現と絡めての、特に若い女性に向けたSDGsの普及促進</p> <p>成 果：アジア初のLOCAL 2030 HUB（SDGs普及促進に向けた「ハブ都市」）になるよう求められ、これを応諾</p>

情報発信 SDGs未来都市

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）

青字：SDGs未来都市

※道県が選定されている場合は道県全域を着色。



3



選定証授与式（30.6.15 於：首相官邸）

情報発信 市外講演会等への出講

日付	名 称	開催地等
2/13	慶応義塾大学SFC研究所×SDG・ラボ シンポジウム	東京都
6/15	内閣府主催SDGs未来都市説明会	東京都
10/ 2	慶応大学コンソーシアムミーティング	神奈川県
10/13	豊橋市職員自主研修会	愛知県
10/13	日本教育行政学会第53回シンポジウム	静岡大学
10/27	日本マネジメント学会第78回全国研究大会	常葉大学
11/ 2	大都市企画主幹者会議	静岡市
11/10	獨協大学環境共生研究所シンポジウム	埼玉県
11/26	(株)地域科学研究会セミナー	東京都
1/21	第10回持続可能な都市に関するハイレベルセミナー	インドネシア
1/26	佐賀から考えるSDGs時代の幕開け講演会	佐賀県
1/29	横浜銀行・横浜総研セミナー	神奈川県
2/13	第1回地方創生・SDGs国際フォーラム	東京都
3/ 4	シンポジウム「SDGsを語り合う～持続可能な社会を目指して～」	東京都

情報発信 雑誌への寄稿等

名称等	時期等
チューサイ	9月号
職員研修	11月号
地方債	12月号
建通新聞	1月
公務員試験受験ジャーナル	平成31年度 Vol.4
日経BP社	2月
月刊広報 (No. 801)	2月
朝日新聞デジタル版(市職員と蟹江教授との対談記事)	2月
朝日新聞	3月

情報発信 視察受入れ

日付	派遣元
10/12	牧之原市
10/17	草津市議会
12/21	中国三沙市議会
1/24	名古屋市
2/ 4	鯖江市議会
2/ 7	南アルプス市議会

情報発信 エコプロ2018

項目	内容等
日時	平成30年12月9日（土）
会場	東京ビッグサイト
概要等	<ol style="list-style-type: none"> 1 ブース出展 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ダーツゲーム ・関係動画上映 2 内閣府ステージでのスピーチ 3 市ステージ <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市の取り組み紹介 ・SDGs 普及啓発寸劇（静岡サレジオ高校共催）
パートナー	(株)静岡朝日テレビ、(株)リコージャパン静岡支社、静岡水素エネルギー、静岡サレジオ高校、常葉大学、静岡大学、(株)NTTデータ経営研究所



パートナーシップの構築

様々なステークホルダーとの連携のもと、各種事業を展開したほか、SDGs推進に関する協定等3本を締結。

日付	協定名	相手方
5/16	SDGsの推進に向けた連携に関する協定	国連の友Asia-Pacific 代表理事 金森孝裕 氏
10/6	日本国静岡市とフランス共和国カンヌ市 政策協定に関する覚書	カンヌ市 ダビッド・リスナル市長
2/ 8	ダンス教育及びSDGsの推進等に関する協定	(株)dance earth 代表取締役CEO 宇佐美吉啓 氏 (EXILE ÜSA)



締結式（国連の友Asia-Pacific）



締結式（カンヌ市）



締結式（株dance earth）

【Think Globally (地球儀を俯瞰する) : SDGs と<五大構想>について】

「地球儀を俯瞰する」安倍晋三首相は、本年の施政方針演説においてこのように述べ、我が国が世界の平和と繁栄に貢献する決意を示し、自治体に対して、国際連合が掲げるSDGs実現への協力を要請されました。

SDGsとは、2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称です。この目標達成に向けて、国連加盟国は2030年までに「地球上の誰一人として取り残さない」との合言葉の下、この地球から貧困や飢餓、環境汚染や気候変動、テロや戦争がもたらす“人類の不安や不幸”を除去する努力を求められることとなりました。SDGsとは先進国も途上国も共に、いわば「この世界をずっとみんなで」良くしようという17の目標と169のターゲットから構成された、15年間に渡る”国連版の総合計画”なのです。

これに呼応して、国は先ごろ「地方創生に向けた自治体SDGs推進事業について」との指針を公表し、自治体のSDGsの取組みを後押しし始めました。もとよりSDGsが目指す国際社会の姿は、静岡“市民の安心や幸せ”を実現しようとする、本市が目指す都市の姿と重なります。

そこで本市では全国に先駆けて来年度から、3次総の中にSDGsを組み込む作業に着手することにしました。具体的には、SDGsが掲げる17の目標の幾つかを、3次総のとりわけ<5大構想>実現に向けた工程表の中に盛り込み指標化する取組みを始めます。3次総に、より高いストレッチ目標を掲げることにより、その実現への加速力としていこうという試みです。

幸いこれまでの取組みを通して、<5大構想>のうち静岡都市、清水都心そして草薙・東静岡副都心の「世界に存在感を示す3つの都心づくり」に蒔かれた種が、少しずつ芽生えてきていると手応えを感じています。

静岡都心の《歴史文化の拠点づくり》では、駿府城天守台の発掘調査の過程で、江戸城をも凌ぐ日本一のスケールの天守台が姿を現していますし、歴史文化施設の建設に向けては、世界に名だたる建築家の手によって設計が進んでいます。清水都心の《海洋文化の拠点づくり》では、清水港の国際クルーズ拠点形成港湾の指定を受け、客船の寄港が飛躍的に増加する中、海洋文化施設の整備に向けた基本計画の策定が始まり、新清水庁舎にあっては基本構想が固まり、目下パブリックコメントが実施されています。そして草薙・東静岡副都心の《教育文化の拠点づくり》では、草薙地区に今春、常葉大学新キャンパスが開学する一方、東静岡地区には、「アート&スポーツ/ヒロバ」の一角にローラースケートパークが暫定整備され、市内外から多くの若者を呼び込んでいます。

以上の考え方とこれまでの成果の下、来年度はこれらの芽をさらに育てていくべく、SDGsの指標化という新たな養分を与え、<5大構想>をリーディングプロジェクトとした3次総を引き続き強力で推進していきます。

【はじめに】

昨年5月、静岡市長として初めて、米国のニューヨーク国連本部で開催された「SDGs推進会議」に招聘され、スピーチをする機会に恵まれました。

その中で私は、国際連合が加盟各国の地方政府に期待することと、静岡市民が静岡市役所に期待することの両立を目指す「世界に輝く静岡」のまちづくりの取組みを語り、日本を代表する政令指定都市の一つである静岡市の存在を大いにアピールしました。その結果として、昨年7月に行われた「ハイレベル政治フォーラム」への招待状も届き、続いて渡米した美濃部副市長によるスピーチの結果、本市はアジア地域の諸都市の中で唯一、「Local 2030 Hub」いわゆる「SDGsハブ都市」に選ばれました。

平成31年度は、「第3次静岡市総合計画（3次総）」の後期4年間でスタートする都市です。前期4年間にもまして、複眼思考、即ち“鳥の眼”をもって、地球規模で本市のあるべき都市の姿を見定めつつ、“虫の眼”をもって、葵・駿河・清水の3区、78の連合自治組織の諸課題を見据え、「市民それぞれが輝き、自分らしい人生を謳歌できる、世界に輝く静岡にする」との初心を肝に銘じ、市政を牽引したいと決意を新たにしています。

【3次総 × 5大構想 × SDGs = 「世界に輝く静岡」】

一昨年、昨年の2年間をかけて。私は「タウンミーティング」「まちづくりセッション」と題した市民集会を、市内19か所で開催しました。

局長・区長をはじめ多くの職員と共に、市民の皆さんの発言に耳を傾ける一方、本市が2022年を目指して取り組む「3次総」、その中の最優先政策群である「5大構想」、そして国連が2030年を目指して取り組む「SDGs」の掛け合わせを通じて実現に近づけようとする「世界に輝く静岡」の都市ビジョンについて、説明を重ねてきました。各会場では、市民の皆さんが抱く未来の静岡市に対する希望や期待や不安、現状への温かい評価や厳しい批判など様々な声に接し、それらを政策推進への発奮力としてきました。

この4年間、「世界に輝く静岡」の実現に向けて、ひたすら種を蒔いてきました。

中には、芽を出し始めた政策もあります。今後4年間を通じて、さらにその芽を伸ばし、花を咲かせ、市民の皆さんに「世界に輝く静岡」のまちづくりの成果を感じていただき、本市に暮らす、そして本市を訪れる皆さん

参考資料 市政への組込み H31施政方針(抜粋) (2)

の、納得感と安心感と満足感を高めていかなければなりません。

そこで、平成31年度は、「5大構想」をさらに力強く推進します。

まず、《歴史文化の拠点づくり》については、駿府城跡天守台の発掘調査の成果である豊臣時代の天守の遺構や金箔瓦の発見を起爆剤にして、例えば、遺構の上に橋を架けた見学通路による野外展示の検討を進めるなど、2021年秋に向けて旧青葉小学校跡地に整備する歴史文化施設との相乗効果を狙い、集客機能を強化していきます。

次に、《海洋文化の拠点づくり》については、清水港開港120周年の記念の年を迎える本年を契機に、取組のスピードを上げていきます。その中心施設として2020年代前半に整備する海洋文化施設「(仮称)海洋・地球に関する総合ミュージアム」の建設用地の取得をするとともに、清水のまちづくりと防災の拠点ともなる新しい清水庁舎の整備を推進します。

さらに、《「健康長寿のまち」の推進》については、生涯活躍のまち静岡(CCRC)の一環として、昨年、地域福祉共生センター「みなくる」と、再開発ビル「札の辻クロス」内の有料老人ホームがオープンしました。来年度は、全国初の「(仮称)認知症予防センター」の整備を視野に入れた研究を進めていくほか、「口腔保健支援センター」を新設します。

そして、《教育文化の拠点づくり》と《「まちは劇場」の推進》についても、「SDGs」の指標の組込みと「5大構想」全体の相乗効果により各取り組みを加速させ、市民の皆さんに対して「世界に輝く静岡」の見える化を図ります。

平成が終わりを告げ、新しい時代が幕を開けようとする本年は、人心一新の大きな節目となるでしょう。本市も、「3次総」後期4年間の始まりの年として、ポスト平成時代へ向けて、市民の皆さんの希望や期待に応えるべく、より一層、ワールドクラスのまちづくりを推し進めてまいります。

市長の政治姿勢（平成30年2月定例会 福地議員（自由民主党静岡市議会議員団代表質問））

- ① 市長就任以降の7年間をどう総括し、任期2期目かつ3次総前期の最終年度である平成30年度をどのように取り組んでいくのか。
- ② 今後、市がSDGsを推進していく意義と期待される効果は何かを伺いたい。

【市長答弁】市長就任以降の7年間の総括と来年度に向けた取組、そしてSDGs推進の意義と期待について、一括してお答えします。

Think Globally, Act Locally 地球儀を俯瞰し世界を意識しつつ、市民のため地域のために行動する。本年の施政方針における、ひとつのキーワードです。

施政方針には、もうひとつ、キーワードがあります。平成30年度に、本市が本格的に取り組もうとするSDGsです。私なりのSDGsの解釈は、「この世界を♪ずっとみんなで」良くしようという目標を掲げたいわば国連版の総合計画であります。このSDGsこそ、Think Globallyに通じるものと考えます。

一方で、Act Locallyとして、私のこれまでの取組の成果は何か。

私は、市民の皆さんと共に歩んできたこの7年間、第2次総合計画をベースに策定したまちみがき戦略推進プランと、第3次総合計画の2つの計画に基づき、市政運営に取り組んでまいりました。さらに、世界水準の静岡市づくりを進めるために、本市の中長期的なまちづくりビジョン「5大構想」を立ち上げ、本年度は、このうち、「世界に存在感を示す3つの都心づくり」である静岡都心、清水都心などにおいて、これまでの取組の成果を、市民の皆さんに分かりやすい形としてお示しできるまでになりました。

例えば、歴史文化の拠点づくりとしての静岡都心では、歴史文化施設の基本設計が動き始め、徳川家康公の過去の歴史から郷土の現在までを学び発見する施設としての期待が高まりつつあります。

また、例えば、海洋文化の拠点づくりとしての清水都心では、海洋文化施設がいよいよ基本計画段階へと入ります。この施設は、日本一の深さを誇る駿河湾の目の前という絶好のロケーションのもと、最先端の海洋研究の成果を発信し、人々で賑わう新たなシンボルとして、港まち清水の再生、そして静岡市の発展の切り札ともなりえるものです。

しかし、これらの施設の役割は、それだけにとどまりません。

歴史文化施設では、家康公が戦国時代にピリオドを打ち、その後、我が国に250年間にも渡って平和をもたらしたという偉業、すなわち“パックス・トクガワナ”を単に紹介するのではなく、そこから世界に向けて、人類の平和を発信していくこともできるかもしれません。

また、海洋文化施設は、静岡市や駿河湾のような地球規模で見れば小さなエリアではなく、その先に広がる太平洋までをフィールドとした地球全体の海を取り巻く環境の保全や、世界の人々が海の資源に感謝し、海の豊かさを守ろうとする心を育てていく役割まで見据えるべきです。

このように、Localな取組から、Globalな思考さらには行動へと拡げていく、これがSDGsなのではないかと私は考えます。

言い換えれば、常にSDGsを意識することにより、我々の思考と行動は、世界水準へと変ぼうを遂げていくともいえます。

そして、これこそが、本市が全国に先駆けてSDGsを市政運営に取り込もうとする理由です。

つまり、世界を意識し、世界に向けて発信することが、本市が目指す「『世界で輝く静岡』の実現」を大きく後押しするものとなると考えたからにほかなりません。

さて、私は、今年の仕事始めの式において、「富士山は、日本でナンバーワンの山だという言い方を止め、世界でオンリーワンの山である、そんな説明をしていきたい」と伝えました。

清水港を訪れる客船の寄港が飛躍的に増加するなか、多くの外国の方々へ案内をしているうちに、「富士山は日本一」とは何かと自問自答し、導き出した答えであります。すなわち、単に日本一の高さを誇るのではなく、存在そのものが他の何物にも代え難い誇りであり、唯一無二の存在であることを改めて認識したものでございます。

私の今任期の最終年度である平成30年度は、他の自治体との単純な比較論で「ナンバーワンのまち」を意識し高みを目指して競争していくのではなく、市民の皆さん一人ひとりが自分らしい人生を謳歌でき、心から、この地に生まれて良かった、住んで良かったと思えるまちづくりを進めていきます。

そのときに忘れてはならないことが、世界を、SDGsを常に意識しながら取り組んでいくこと、それがすなわち、「世界に輝くオンリーワンのまち静岡」へとつながっていくものと考えます。

(平成30年2月定例会)

**第3次総合計画と施政方針において明示された重点的な政策の経過と今後の展開を伺いたい。
(平成30年9月定例会 佐藤議員)**

【市長答弁】今回の議員のご質問を受け、私自身の市政運営を振り返り、平成23年に策定した「まちみがき戦略推進プラン」から現在に至るまでの私の政策に関する一貫した考えを改めてお示しいたします。

平成23年4月に市長に就任して以降、私は「鳥の眼」と「虫の眼」の複眼的な視野を持って「まちみがき戦略推進プラン」を策定し、その推進に全力を挙げて取り組んでまいりました。

平成26年度における3次総策定にあたっても同様に、「鳥の眼」から見た「創造する力による都市の発展」と、「虫の眼」から見た「つながる力による暮らしの充実」を掲げ、これまでの取組を発展的に継承していくことといたしました。

そして、この2つの柱のもとに、18の政策からなる重点プロジェクトを定め、「歴史・文化・中枢」をキーワードにした「産業・経済の振興」と、「健康・防災・共生」をキーワードにした「市民の安心・安全の確保」に係る施策をスタートさせました。

重点プロジェクトは、多様化・複雑化する市政へのニーズなどの時代の要請に応えるために、各局が推進する政策・施策に横串を刺し、関係局が互いに連携し合い、同じ目標に向かって取組を進めることを狙いとしたものです。

一方で、「世界に輝く静岡」のためには、世界を意識した都市ビジョンを市民の皆さんに分かりやすく示すとともに、政策を絞り込むことで、私のカラーを鮮明に打ち出す必要性も感じておりました。

そこで、3次総2年目を迎えた平成28年2月の施政方針において、議会との対話や、市民の皆さんからのご意見を真摯に受け止める中で、中長期的な視点に立ち、最優先で挑戦していく取組「5大構想」に進化させ、「鳥の眼」をもって「世界に存在感を示す3つの都心づくり」と、「虫の眼」をもって「生活の質を高める2つの仕組みづくり」を推進していくことといたしました。

5大構想に取り組んだ成果として、例えば、「歴史文化の拠点づくり」では、駿府城再建を視野に入れた発掘調査において、大御所家康公の天守台が江戸城を凌ぐ日本一の大きさであることがわかり、2021年の歴史文化施設の開館に弾みをつけたほか、

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(2-2)

「海洋文化の拠点づくり」では、各国から研究者が集まる海洋関連の「国際深海生物学会」の誘致に成功し、2021年にアジアで初めて開催する運びとなるなど、本市の存在感を世界に示す足掛かりができました。

また、「健康長寿のまちづくり」では、南部図書館の2階に、地域に住む方々の世代や、障がいの有無などを超えた交流の拠点となる、地域福祉共生センター「みなくる」をこの6月にオープンさせ、社会参加の機会と生きがいの創出に取り組むなど、質の高い生活の実現に向け、第一歩を踏み出したところであります。

さらに、私は常々、「世界に輝く静岡」の実現に向けて、本市を誰もが認める世界水準の都市へと引き上げ、それを発信していくための、更なる手法を模索し、調査・研究を命じておりました。

そうした中、国連加盟国193か国が共通の課題を解決するための「ものさし」として、全会一致で「SDGs」を採択したことを捉え、本年2月の施政方針において、3次総と親和性の高いSDGsを「3次総を加速させるツール」として5大構想に組み込むことを表明し、積極的な取り組みを開始いたしました。

また、日本政府からは、全国1,788の自治体の中から、SDGsの達成に向け優れた取組を進める29の「SDGs未来都市」に選ばれ、国連からは、SDGsの普及に向け各都市をリードする「SDGsHub(ハブ)都市」にアジアで初めて選ばれるなど、大きな評価と期待を得ているところであります。

その期待に応えるためにも、本市の取組を国内はもとより世界に向けて力強く発信することで本市の存在感を高め、「世界に輝く静岡」を確固たるものとしてまいります。

今後も、世界を意識した大局的な視点と、50年、100年先のまちづくりを見据える長期的な視点を持ち、これまでの成果を土台に将来を切り拓いてまいります。

(平成30年9月定例会)

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(3-1)

SDGs推進による市民のメリットは何か。また、17の目標の中で、市が優先的に取り組むべき項目について、どのように考えているのか。(平成30年6月定例会 池邨議員)

【市長答弁】SDGsの推進に取り組むメリット及び優先的に取り組む項目について、あわせてお答えいたします。

SDGsが掲げる17の目標は、「誰一人取り残さない」という地球全体を俯瞰した考え方に基づいており、市民一人ひとりの日常生活とは、かなりかけ離れたものを感じるのが普通だと思います。

しかしながら、例えば「エアコンの買い替えの際に、より省エネ性能が高いものを選ぶ」、「移動の際に自家用車ではなく、電車やバスを利用する」といった個人レベルの日常的な行動であっても、それが世界中で積み重なれば、気候変動の抑止といった環境保全につながり、また、省エネ社会が実現することが期待できます。

さらに、新たに省エネ性能の高いエアコンが開発され、順調に売上が上がれば、企業活動といった経済面での発展にまでつながります。

SDGsが、環境、社会、経済の三側面で語られるのは、このように、従来の環境保全と経済拡大を対立の図式でとらえるのではなく、やり方によっては双方の発展が可能であるという考えに立っているからです。

近年、環境、社会、企業統治の頭文字をとったESG投資の規模が、世界全体で2,500兆円を超え、飛躍的に拡大している現状は、このことをよく表しています。

つまり、SDGsを理解して取り組まない企業へは投資が向かず、発展ができないどころか持続も危うい時代が来ている、といっても過言ではありません。

私は、静岡市を預かる身として、将来に渡って持続可能な足腰の強いまちにしていくことに、強い使命感を抱いております。

先般、本市は全国の自治体のわずか2% (29/1,788自治体※)にも満たない「SDGs未来都市」に選ばれましたが、大局観と先見性を持って取り組み、本市が持続的に発展していくことこそが、市民の皆さんにとって最も幸せなことであり、最大のメリットだと考えています。

次に、優先的に取り組む項目についてですが、先に、SDGsに関わるこんなショートストーリーを、ご紹介いたします。

お手元に資料を配布させていただいておりますので、ご覧願います。

これは四人の物語。

四人は、「みんな」「誰か」「誰でも」、そして「誰も」。

ある大事な仕事、しないといけない仕事がありました。

「みんな」は「誰か」がやるはずだと思っていました。

「誰でも」できるはずのこと、でも「誰も」しませんでした。

「誰か」は怒りました。「みんな」の仕事だったのだからと。

「みんな」は「誰でも」できるはずと思っていましたが、

「誰か」がやるようには「誰も」しなかったのです。

「誰でも」できることを「誰も」しなかったあげく、

「みんな」は「誰か」を非難して、おしまいにしてしまいました。

そして、「2030年の社会がこの物語が描くような状態でないことを祈りつつ・・・。」と締められています。

このショートストーリーは、SDGsの本質的な部分を、実によく突いているものだと思います。

さて、目標17は、「パートナーシップで目標を達成しよう」が掲げられていますが、実はこれだけが異質であります。目標1から16までが、貧困や飢餓など、一つの開発分野を扱うのに対して、それぞれを実現するための方向性や方法を示しています。SDGsの担い手は、国家でもなく、どこかの専門機関でもなく、多様な主体、さらに言えば市民の皆さんの意識に関わってくるものと考えます。いわば、「SDGsは一人ひとりの心に宿るもの」であり、SDGsと身構えて何かをするというよりは、「誰でも」できることを自発的に行う市民の皆さんを増やしていくことが先決であります。

従って、5大構想にSDGsを組み込み、その関連する目標への取組も進めてまいりますが、何よりも最優先で取り組まなければならないことは、目標17だと私は考えます。

このため、池谷議員にもお答えしたとおり、初めてSDGs推進を冠に抱く東京ガールズコレクション(TGC)を中心とした「SDGs推進ウィーク」を成功に導き、国連の場で約束した認知度向上に注力してまいります。

そして、本市が、先ほどのストーリーを辿ることなく、持続的に発展するまちとなるように努めてまいります。

(平成30年6月定例会)

行政マネジメントの強化の面も含め、SDGsをどのように活用していくのか。(平成30年2月定例会 池邨議員(志政会代表質問))

【小長谷副市長答弁】SDGsが掲げる17の目標は、「バックカスティング」というまだ一般には馴染みの薄い考え方に基づいて定められています。

「バックカスティング」とは、未来のある時点に目標を設定し、そこから振り返って現在すべきことを考える方法です。

一方、これと対になる言葉が「フォアカスティング」でありまして、こちらは、過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能なことを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法です。

例えば、「自動車事故ゼロ」という目標を立てた際に、交通安全意識の徹底を図ったり、街頭指導を強化したりという現在の延長上の手段で目標達成を目指すのは「フォアカスティング」です。

これに対し、「そもそも、人間が運転しなければ、運転操作の誤りによる自動車事故はゼロになるのではないか。」との発想のもとで、自動運転の研究や実用化を図るのは、「バックカスティング」です。当初は、とても実現は困難と思われていた自動運転も、目覚ましい技術革新により、既に実用段階にまで進んできていることは、ご承知のことかと思えます。

もちろん、両者に優劣があるわけではなく、現在からスタートするのか未来のゴールから逆算して取り組むのかの違いで、目指す究極の目標は同じなのですが、遠いゴールからの発想がなければ、自動運転の調査研究は進まなかっただろう、との見解も示されているところです。

さて、全国の自治体は、行政の継続性の観点から、どちらかといえば「フォアカスティング」の発想で行政運営されておりますが、3次総の5大構想については、その構想が長期的な将来を見据えていることから、「バックカスティング」が適していると考えます。しかし、5大構想にこの手法を取り入れ、マネジメントしていくためには、SDGsの掲げる2030年の目標と5大構想の目標をすり合わせ、適切な指標、目標を設定し、進捗管理していく必要があります。

ご承知のとおり、3次総には平成34年度までの計画期間中の目標しか示しておらず、また、これらは過去のデータや現状値、実現可能な取組から設定した「フォアカスティング」によるものであります。

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(4-2)

そこで、来年度はSDGsを活用して、5大構想を世界レベルの取組にまで引き上げるため、そのマネジメントに必要なSDGsのゴールから逆算した指標、目標を定めてまいります。この作業は、市にとって前例はなく、新たなチャレンジでありますので、専門の研究者の知見を得て、ともに調査研究を行って定めていきたいと考え、これに要する経費を予算計上させていただいたところです。

今後は、3次総の「フォアキャスティング」の手法に基づく既存の短中期的な目標と、5大構想の「バックキャスティング」の手法に基づく5大構想の長期目標の双方を、効果的に組み合わせることにより、新たなマネジメントシステムの構築を図って、「世界に輝く静岡の実現」を推進してまいります。

(平成30年2月定例会)

SDGs推進において市長はどのように取り組んでいくのか。(平成30年11月定例会 島議員)

【市長答弁】本市が3次総で目指す、市民約70万人のための「住んでいる人の安心感、訪れる人に満足感を抱かせるまち」と、約70億人という世界中の人々の「豊かで満たされた生活」を追求するSDGsの目指す方向には、高い親和性があります。

そこで、私は、3次総を加速させるとともに、本市が世界の中で存在感を高めるツールとして、SDGsを活用するとの考えに至りました。

SDGsのゴールである2030年を見据えた私の取組姿勢は、次の2つであります。それは、

- ・第1に、行政サービスの高度化を図るために市政に組み込むこと
- ・第2に、認知度・理解度を高め、行動を促すために普及啓発を進めること

であります。

まず、市政への組込みとしては、全国の自治体に先駆けて、現在、「5大構想」の中で市民生活に最も身近な「健康長寿のまち」の推進にSDGsの視点を取り入れ、それを指標で進捗管理するための作業に取り組んでおります。

一つの地方公共団体として、行政サービスを可能な限り向上させることは、最も重要なものであります。現在、SDGs研究の第一人者の知見も借りながら、わが国の先例を作るべく作業を進めているところであり、今年度中の完成を目指しております。

次に、普及啓発ですが、SDGsが目指す理想の世界を実現するためには、市民や企業などのあらゆる主体が、SDGsを自分事として理解し、行動に移すことが不可欠であります。

SDGsという言葉自体があまり知られていない現在、市民生活に目を向けると、自治会・町内会が取り組んでいる清掃活動や交通安全活動、市民団体が進める女性活躍や自然保護の活動など、既に、SDGsに通じる数多くの取組が見られます。

こうした取組が実はSDGsにつながるものであることを気づいていただくためにも、まずはSDGsという言葉を知ってもらうことに優先して取り組んでいるところであります。

一方、企業の側からSDGsを見ると、企業の収益向上と社会的課題解決への貢献は、二律背反するものではなくビジネスチャンスにつながることを、伝えてまいります。

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(5-2)

このような取組はまだ緒についたばかりですが、私は、市政への組込みと普及啓発を着実に進め、SDGsを活用して、「世界に輝く静岡」の実現を確たるものにしてまいります。

(平成30年11月定例会)

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(6)

「成長拡大から成熟・持続可能」社会への転換とSDGsとの関係（平成31年2月定例会 松谷議員）

【企画局長答弁】成熟社会とは、量的拡大だけを追求するのではなく、精神的豊かさや生活の質を重視する社会であり、持続可能な社会とは、将来の世代が必要とするものを守りつつ、現在の世代が希望する生活を維持することができる社会である、と考えます。

一方、SDGsは、温暖化に代表される地球の環境問題など、世界的な取組で守ろうとする考え方がその根底を流れ、地球規模の様々な課題に対して、発展途上国には「成長と成熟に資する取組」を、そして先進国には「成熟に資する取組」の方向性を示す羅針盤ともいべきものであると考えます。

このように、両者は同じ方向性を目指しているものであり、SDGsは、「成熟社会」、「持続可能な社会」を実現するためのツールであると考えております。

SDGsの5大構想への組込み作業の課題（平成31年2月定例会 松谷議員）

【企画局長答弁】SDGsを5大構想に組み込む主なメリットは、2点あると考えております。

1点目は、中長期的視点で「あるべき姿」を描くことで、目標に向かう工程を明確した上で、効率的かつ効果的な施策を立案できること、です。

2点目は、「世界共通のものさし」として、現在の置かれている状況を世界的な視点で的確に把握できること、です。

このため、SDGsを組み込むにあたっては、「2030年のあるべき姿」を描く必要があるとともに、世界標準として設定された指標を、本市にあてはめて、再構築する必要があります。

しかしながら、この「中長期的な視点であるべき姿を描くこと」や、「世界指標のローカライズ化」については、これまでどの自治体も経験したことはなく、前例がない中での作業であることが、課題であると考えております。

職員の意識改革とSDGsの市政への反映 (平成31年2月定例会 大石議員(公明党静岡市議会代表質問))

【市長答弁】SDGsウィークで、集中的に普及啓発に取り組んで以来、「SDGsを市政に組み込むとはどういうことか」と、市民の皆さんから尋ねられる場面が増えてきています。

「国連で定めた17の目標と、私たちの日々の暮らしとは、あまりにかけ離れている気がして、実感が湧かない。」というのが、市民の皆さんの率直な感想であり、「SDGsという言葉自体は何となく耳にするようになったが、自分とは関係のないもの」と思われている方も、まだまだたくさんいらっしゃると思います。

私は、SDGsという世界共通のものさしを上手に使いこなし、現在の市民の皆さんの生活を充実させるとともに、将来に渡って持続可能なまちとして発展させていきたいと考えております。SDGsに振り回されるのではなく、これをツールとして活用していきたい、という思いが根底にあります。

例えば、「中山間地の存続」という課題があります。2014年に、元総務大臣の増田寛也が座長を務める「日本創成会議」から、人口急減の危機をデータと合わせ、小規模な自治体や集落の消滅可能性まで踏み込んだ衝撃的なレポートが発表されました。

本市においても、先日、畑田議員からも「オクシズの今後」についての質問をいただきましたが、「中山間地の存続」は決して他人事ではなく、「日々の交通や買い物」、「使いやすいインフラ」、「いざという時の医療や福祉」、あるいは「行き届いた教育」など、多岐にわたる課題を抱えています。

そして、これらの課題は、SDGsで掲げるゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール4「質の高い教育をみんなに」等とつながり、中山間地に安心して住み続けられることは、正に、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」という世界中の人々が望むSDGsの目標と重なることとなります。

このように、決してSDGsはかけ離れた存在ではないのです。

また、このような課題の解決に当たって大切なのは、「一つの課題だけにとらわれることなく、関連する課題も含めて全体像をとらえること」、「目先の課題解決だけでなく、将来を見据えた中長期的な解決を考えること」、「行政だけで解決を図るのではなく、地域住民や民間企業、大学など様々なパートナーと連携すること」、の三つであります。

参考資料 市政への組込み 議会答弁要旨(7-2)

これらもまた、SDGsの特徴である「様々な目標が互いに関係する統合性」「2030年という未来から現在を考えるバックキャスティング」「パートナーシップで目標達成」という考え方と瓜二つであります。

さて、日頃、私の元には、職員から様々な相談や提案がなされますが、まだまだ、担当局の視野の範囲だけで止まってしまっているもの、差し迫った目前の課題だけにとらわれ、その先を見通していないもの、行政だけで最初から最後まで完結しようとするものが見受けられます。

そこで、職員自身の意識を、SDGsの基本的考え方を活用して改革していき、より市民の皆さんの満足度を高める行政スタイルへの転換を図っていこうと考えたところです。

このため、まずは、局長級職員への理解促進を目的に、昨年4月、全国に先駆けて「静岡市創生・SDGs推進本部会議」を設置し、すべての職員への浸透を図る独自の実施指針について、議論を重ねているところです。

さらに、平成31年度の当初予算編成に当たり、将来のあるべき姿からバックキャスティングで事業立案する方針を示し、SDGsの基本的考え方に沿って実践してみる機会を作りました。

このような中、うれしいことに、私の意図をいち早く汲み取り、自発的にSDGsに関する研修を行った部局や、自分の時間を削って自主研究として取り組むグループが現れています。

研修の中には、参加職員の理解度が24%から96%まで向上した効果の高いものもあり、また「今後の自分の視点や行動が変化した」との職員の声があった、と聞いております。

今後は、このような自主的な取組から、一歩進めて市の正式な職員研修に加えることなどにより、さらなる浸透を図ってまいります。

冒頭申し上げた通り、SDGsは、あくまで本市を、将来に渡って持続可能なまちとしていくためのツールであります。

今後も、継続的に職員の意識改革を図り、グローバルな視点からローカルを考えることができる職員を増やし、職員とともに、市政運営を進化し続けてまいります。

そして、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に沿った「世界に誇れる住みよいまち」を実現してまいります。

(平成31年2月定例会)

(静岡市SDGs実施指針 ～持続可能なまちづくりのために～)

前文

戦後一貫して右肩上がりの成長を続けてきた我が国は、本格的な少子高齢社会、人口減少社会の到来により、旧来の社会システムのあり方そのものを見直さなければならない局面を迎えています。すなわち、政治、経済、文化、情報などの社会資源とともに人的資源を都市に集中し、効率性を高めてきた手法は、その代償として地方における人口流出を招き、衰退につながるという事態を招きました。このため、国は「地方創生」を謳い、「地方」をキーワードに未来に向けた社会モデルを模索しているところです。地方自治体にとっては、地方から国を変える、という気概を持って、成功事例を生み出し、全国に水平展開することが求められる時代がやってきたと言えます。

そこで、今こそ、地域の実情を最も把握している地方自治体が、地域コミュニティの最小単位である自治会・町内会が抱える地域課題の解決や、市内企業のビジネスチャンスの拡大などのために、未来を見据えて研究に取り組んでいる大学・研究機関、数多くの実践を積み重ねてきたNPO等の市民団体、様々な分野でビジネスを展開している市内企業などの様々なステークホルダーとパートナーシップを築き、それぞれが互いの強みを持ち寄って大同団結し、持続可能なまちづくりを推進していく必要があります。

そして、このパートナーシップを構築するためには、様々なステークホルダーをつなぐ世界共通言語であるSDGs（2015年に国際連合のサミットで採択された持続可能な世界を実現するための17の目標）を用いることが有効な手段であると考えます。

このため、SDGs未来都市として政府から選定され、Shizuoka City Local2030 Hubとして国際連合に位置づけられている本市は、この世界標準としてのSDGsを最大限に活用して、目指すまちの姿である「世界に輝く静岡」の実現に向けて歩み続けます。そして、本市が、30年、50年、さらには100年先においても「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念を体現し、経済・社会・環境の三側面が調和した持続的な発展を遂げているまちとなるように、今の段階から、市政運営の基礎を築いていきます。

第1 実施指針の位置づけ

この指針は、市のSDGsの推進に関し必要な事項を定めることにより、SDGsの要素を市政に組み込むとともに、国連で示された2030年までの17のゴール、169のターゲットを意識した世界標準の市政運営を通じて職員のパフォーマンスの向上を図り、もって静岡市基本構想（2014年12月12日議決）に基づく「世界に輝く静岡」の実現に資することを目的とします。

第2 取組姿勢

本市におけるSDGsの推進は、様々なステークホルダーと連携して取り組むとともに、次に掲げる事項を基本として取り組みます。

1 (市政への組込み)

世界共通の「ものさし」であるSDGsを、総合計画（当面、3次総で最優先に取り組む「5大構想」）に組み込み、市の政策を世界標準に引き上げます。

2 (普及・啓発)

市民の生活や企業・団体等の活動とSDGsの理想の世界との距離感を近づけ、SDGsを自分事として捉え行動してもらうために、概ね2018年度から2020年度の3年間、重点的に普及・啓発に努めます。

3 (情報発信)

SDGsの未来都市、また、アジア初のハブ都市として、市民、自治会、企業、団体等の活動や市の取組を、国内・世界に向けて広く情報発信し、本市の存在感を高めていきます。

第3 職員の業務遂行

1 (日常業務)

職員は、SDGsの理解に努め、目標年次である2030年を見据えた長い時間軸と、169のターゲットの多様な着眼点という広範な視野を意識して、自らの業務に取り組めます。

2 (ステークホルダーとの連携)

職員は、世界の共通言語であるSDGsに関する研修会、意見交換会等に積極的に参加し、様々なステークホルダーと連携し、自らの業務を進めます。

3 (所属長)

所属長は、上記2つの点に留意して職員の積極的な姿勢を引き出すように指導し、援助するとともに、課かい等の業務がどのようにSDGsと関連するのかについて、日頃から意識して業務に取り組みます。

第4 各局・区等の取組

1 (5大構想・総合計画)

各局・区等は、SDGs共同研究(研究者と共同して行う5大構想・総合計画にSDGsの観点を組み込むこと及びSDGsに関連する統計情報を整理しローカライズ指標を策定することをいう。)のうち関連する事項について、会議への出席、必要なデータの提供等、企画局と連携して取り組むとともに、策定した指標の達成に向けて事務事業に取り組みます。

2 (個別計画等)

各局・区等は、その事務に関し個別計画等を策定し、又は改定するときは、企画局と協議の上、次のとおりSDGsの17の目標を統合したアイコンを掲載し、SDGsの解説及びその理念と当該個別計画等との関連を記載します。さらに、実施指針第6.1の3要件を満たす場合には、政策・施策に紐づくSDGsの個別のアイコンも表示します。



静岡市は世界標準のまちづくりを進めています。

3 (普及・啓発)

各局・区等は、その事務事業に関して市民、企業等を対象としたチラシ・パンフレットを作成するときは、次のとおり関連するSDGsのアイコン及び適切なコメントを掲載し、普及・啓発をします。市民、企業等を対象としたイベント等を開催する際も、その内容にかかわらず、方法を工夫して普及・啓発をします。



静岡市はジェンダー平等を進めています。

第5 企画局の役割

1 (市政への組込み)

企画局は、SDGs共同研究の実施に関する事務、設定された指標の達成に向けた進捗管理に関する事務等の総合調整を行います。

2 (情報発信)

企画局は、関係機関と連携しながら、全庁の中心となって、市民、自治会、企業、団体等の活動や市の取組を、

SDGs未来都市として国内に向けて、ハブ都市として世界に向けて、情報発信します。

第6 政策・施策とアイコン

1 ハブ都市である本市では、SDGsの17のアイコン(カラー版)のいずれかを政策・施策に紐づくゴールとして用いることができるのは、次に掲げる要件(以下「3要件」という。)の全てを満たすと企画局が判断し、静岡市創生・SDGs推進本部会議設置要綱(2018年4月1日施行)に基づく静岡市創生・SDGs推進本部会議に報告したものに限りします。

(1) 2030年のあるべき姿を描き、そこからバックキャスティングにより政策・施策を立案しています。

(2) SDGsのターゲットに基づき政策・施策に設定した指標による進捗管理体制を確立しています。

(3)



- 2 政策・施策・事務事業等にアイコンを用いる場合に、3要件を満たさないときは、SDGsの17のアイコン(WB版)のみを利用します。ただし、3要件を満たす場合であって白黒印刷をするときは、カラー版を白黒で印刷したものを利用することができます。



SDGsの17のアイコン (WB版)

第7 SDGsの推進体制

- 1 静岡市創生・SDGs推進本部会議は、市のSDGsの推進に当たり、専門的見地からの意見を述べ、提言を行います。
- 2 静岡市創生・SDGs推進会議設置要綱(2018年4月1日施行)に基づく静岡市創生・SDGs推進会議は、市のSDGsの推進に係る意見を述べ、提言を行います。
- 3 全庁でSDGsを推進するため、各局・区等にSDGs推進委員を、各課かい等にSDGs推進員を置きます。

第8 その他

この指針の実施に関し必要な事項は、市長が別に定めます。

参考資料 普及啓発 議会答弁要旨(1)

SDGsの普及啓発への取組みは（平成30年6月定例会 池谷議員）

【企画局長答弁】市民の皆さんにSDGsを知っていただくためには、様々な場面で、そのロゴマークを目にしたリ、目指す社会を身近に感じる機会を増やしていくことが必要です。

そこで、来年1月3日からSDGs推進ウィークと銘打って、集中的に普及啓発イベントを催すことで、まち全体をSDGs一色に染め上げ、ウィークの集大成として東京ガールズコレクションを開催し、市内はもとより全国へ情報発信していきます。

ウィークのスタートとなる成人式においては、新成人へのPR活動を実施するため、実行委員会とともに、現在、検討しているところです。

また、ウィークの期間中における中高校生や大学生による研究発表など、若者が中心となったイベントの開催に向け、現在、調整しております。

一方、既に取り組んでいる普及啓発としては、まちづくりセッションにおいて、市長自ら、「広報しずおか特集号」を使って、SDGsの理念や市の取組みを説明しています。

また、6月1日から配布を始めた「静岡市おもてなしパスポート『Sパス』」では、そのカードの表面に17の目標のロゴを入れ、周知に努めています。

さらに、高校・大学と連携した普及啓発にも取り組んでおり、先日は、常葉大学にて、本市職員が、SDGsと本市の取組みに関して講義をし、DVDを使って市長の国連スピーチの模様を紹介しました。

この他にも、市内企業に向けた普及啓発方策を市内大学生とともに研究し、実践していくことも検討しております。

これらの取組をとおして、市民の皆さんのSDGsに対する認知度を高めていきたいと考えております。

参考資料 普及啓発 議会答弁要旨(2)

SDGs推進のスケジュールは（平成30年6月定例会 池邨議員）

【企画局長答弁】本市が推進している3次総・5大構想の目指す安心感と満足感のビジョンと、SDGsの目指す2030年の地球の姿の方向性は非常に親和性があるため、本市は、3次総・5大構想が目指す「世界に輝く静岡」を実現するため、積極的にSDGsを推進しています。

去る6月15日、本市は、全国に先駆けて優れた取組を行う「SDGs未来都市」に選ばれ、市長が安倍総理から直接、選定証を授与され、SDGs推進に向けた大きな一歩を踏み出したところです。

今後の取組みですが、先ほど市長が答弁されたように、省エネ型商品の購入など、市民の皆さんの日常生活にはSDGsにつながる行動が数多くありますので、SDGsを意識し、「誰でも」できることを自発的に行う市民の皆さんを増やしていくことが、本市が優先して取り組む必要がある課題であると考えています。

そこで、SDGsの市民認知度を高めるための取組みを重点的に行うこととし、特に、来年1月3日の成人式から東京ガールズコレクションまでの間を、「SDGs推進ウィーク」と定め、普及啓発を強力に進めていきます。

このウィーク期間中、まち全体をSDGs一色に染めるため、庁内に設置した若手職員によるチームが、学生、企業等と連携したイベントを検討しており、その具体的な内容については、秋頃の公表を目指しています。

ウィーク以外の普及啓発として、「しずおかまちづくりセッション」での市長によるSDGsの説明の他、市内大学生徒とともに、市内企業に対するSDGs普及啓発事業の検討等も行っています。

SDGs推進に当たっての自治会・町内会の役割（平成30年6月定例会 池邨議員）

【企画局長答弁】自治会・町内会は、清掃や古紙回収など、安心・安全な日常生活を送るため、地域ぐるみで活動をされています。

そしてこれらの活動とSDGsとの関連性を見た場合、

例えば、清掃活動や防災活動は、安心、安全な地域づくりの観点で、主に、「目標11 住み続けられるまちづくり」に、古紙回収は、持続可能な生産と消費の観点から、主に、「目標12 つくる責任つかう責任」に、それぞれ結びついており、自治会・町内会は、既にSDGs推進の役割を担っているといえます。

さらに、「目標5 ジェンダー平等」を意識することで、地域活動における女性の参画が促されるなど、今後の自治会等の取組にSDGsの観点を加えることで、活動内容が持続可能な取組みへと強化されます。

このように、SDGsを意識し、将来の姿を見据えて活動することにより、自治会・町内会の取組は、さらに地位浮き社会の充実に繋がり、結果として、そこに暮らす市民の皆さんのQOLの向上に寄与するものと考えております。

SDGs 普及啓発の成果と今後の取り組み（平成31年2月定例会 松谷議員）

【企画局長答弁】SDGsウィークでの数々のイベントの中で、とりわけ、ツインメッセ北館で開催した「TGCしずおか」の来場者数は約7,200人で、LINE生中継の視聴者数は約70万人と伺っており、多くの人に対してSDGsを直接発信することができました。

また、隣接する南館で同時開催した「SDGsコレクション」では、市内の高校や大学、株式会社シャンソン化粧品を始めとする市内企業、民放4局等の放送局にもご参加いただき、来場者数も約10,500人と、普及啓発に大きな成果があったと考えています。

さらに、学校や企業等への出前講座や情報誌の発行など様々な場面でSDGsの普及啓発に努め、その結果、当初の調査では2%だった市民認知度が36%にまで向上しました。

来年度も開催する「TGCしずおか」や「SDGsコレクション」等の啓発イベントでは、より多くの皆さんに参加や協力を呼び掛けるなど、さらなる認知度向上につなげてまいります。

この他、SDGsに取り組む企業等の表彰制度を設けるなど、市民、企業等がSDGsを自分事として捉えて行動に移せるよう、普及啓発に取り組んでまいります。

国連本部でのスピーチ内容と手応えは（平成30年6月定例会 池谷議員）

【市長答弁】まず、今回の訪問を通じて最も印象に残ったことは、国連事務局におけるSDGs推進への力の入れようは、私の想像をはるかに超えていた、ということです。

例えば、国連事務局パートナーシップ事務所は、あらゆる主体との連携のもと、SDGsが強力に推進されるよう、各国政府はもとより、世界の地方自治体やNGOなどとの関係構築を強く望んでいました。

さて、我々が3次総で目指す静岡市民約70万人のための「住んでいる人の安心感と、訪れる人に満足感を抱かせるまち」と、約70億人という地球上のすべての人間の豊かで満たされた生活を追求するSDGsとは、目標とする年次も異なっていますが、経済成長や環境からの恩恵を享受しつつ、このまち、さらにはこの地球で、いつまでも幸せに生活していきたいという点で、目指す方向は一致しています。

そのため、世界共通の目標であるSDGsに取り組むことは、本市の地域課題を解決し、豊かな市民生活や世界に輝く静岡の実現につながるものであります。

私は、国連でのスピーチで、その点を説明したうえで、静岡市民の生活と、SDGsの理想の世界との距離感を一歩でも近づけていくため、市民認知度を50パーセントまで引き上げることを、本市のミッションとすることを宣言いたしました。

加えて、今回の会議を主催したチャウドリー国連大使やケネディ国連事務局パートナーシップ事務所上級役員と、個別に対談を行い、本市が5大構想にSDGsを組み込む意義や、女性の活躍に関する本市の政策などについて意見交換を行いました。

対談後、ケネディ上級役員からは、7月に国連ニューヨーク本部で開催される「ハイレベル政治フォーラム」において、改めてスピーチして欲しいとの、大変光栄な申し出がありました。

国内においては、総理官邸で開催されたSDGs未来都市の選定証授与式に私も出席し、安倍総理から、「自治体におけるSDGsの推進は、地方創生につながるものである。是非、全世界に誇れる取組をして、全国の自治体を牽引して行って欲しい」というお言葉も頂きました。

このように、SDGsに取り組んだことにより、国連との関係を作り、日本政府からの支援も受けられるようになり、「『世界に輝く静岡』の実現」が、より一歩、近付いてまいりました。

参考資料 情報発信 議会答弁要旨(1-2)

7月の「ハイレベル政治フォーラム」には、美濃部副市長を派遣する予定であり、今回構築できた国連との新たなネットワークを最大限活用し、日本政府とも連携しながら、世界におけるSDGs推進の先進都市を目指すとともに、「世界に輝く静岡」の実現に向けた取組を、着実に進めていきたいと考えています。
(平成30年6月定例会)

自治体としての平和外交に対する考え方 (平成30年2月定例会 公明党静岡市議会代表質問(山本議員))

【企画局長答弁】「平和」は、本市市民ならず人類共通の願いであり、SDGsにおいても、目標の一つとして「平和と公正を全ての人に」と示されています。

群雄割拠で争いの絶えなかった戦国時代に終止符を打ち、長期にわたる国内平和を実現し、朝鮮通信使により国外との平和外交を図った徳川家康公が活躍された本市には、今でもその素養を受け継ぐ市民性が息づいているものと考えます。

このような中、本市は、「静岡市平和都市宣言」を掲げ、恒久平和という大きな理念のもと、教育や文化、スポーツなどの様々な場面で、平和への想いをもって取り組んでおります。

例えば、議員質問中にありました「国連軍縮会議」や「中東和平プロジェクト」の際には、「平和の明かりプロジェクト」や、イスラエル・パレスチナの若者との交流事業等、多くの関連事業を実施いたしました。

今後は、「外交」を「国際交流」と広く捉え、その前提となる他国の文化、慣習、言語、宗教などを理解し、寛容に受け止めることができる市民を増やすために、国際交流イベントや姉妹都市交流偉業などを実施するとともに、小学生の英語教育にも力を入れて、国際理解、国際感覚に優れた人材を育成していきます。

また、トップセールスによる客船誘致や訪日教育旅行誘致などにおいて、単なる経済的な側面にとどまらず、平和都市としての本市を理解いただくことを念頭に置いて、本市を訪れる外国人を増やす取組を進めるなど、国際的な目標であるSDGsの推進につなげてまいりたいと考えております。

市長スピーチ (全文)

日本の象徴「富士山」のふもと静岡市から参りました、市長の田辺信宏です。

【はじめに】

静岡市は、人口約70万人、京都市や大阪市など日本を代表する20の大都市のひとつでありながら、3,000メートル級の峰々が連なる山々から太平洋に面した美しい海岸までも併せ持つ都市です。

本日は、鯖江市様もいらっしゃいますが、この静岡市が日本におけるSDGsのフロンティアを目指し、様々なステークホルダーと連携するこれまでの取組と、これから挑戦する試みを紹介します。

【これまでの経緯】

さて、2015年9月、MDGsを継承して、国連サミット全会一致で採択されたSDGs 2030アジェンダの大きな特徴の一つには、開発途上国も先進国も、そして私ども地方政府、さらには、地域を構成する企業団体をはじめとする民間セクターまで、あらゆる主体が官民連携して取り組んでいくことであると理解しています。

この理念を受け、2016年12月、日本政府は、SDGs実現に向けての日本の指針を示しました。そして、昨年9月、私ども地方政府に対して、SDGs推進を呼びかけ、地方のSDGsの優れた取組を政府全体で表彰する「ジャパンSDGsアワード」を公募しました。

【SDGsの低い認知度】

その呼びかけに、いち早く手を挙げた私ども静岡市は、SDGsをいかにまちづくりに組み入れていくか、検討を重ねてまいりました。

まず、取り組まなければならない最初の課題が、SDGsの認知度向上です。

そこで、今月12日から、SDGs普及を目的に、市内11か所で、毎回200人以上の市民と私との対話集会「まちづくりセッション」に着手しました。

しかし、現状は、これまでの4回の集会の冒頭で、SDGsの内容を知っているか、尋ねたところ、どの会場でも、参加者約200人のうち、手を挙げたのは10名でした。

ニューヨークから遠く離れた静岡市で暮らす人々にとって、国連で採択されたとはいえ、SDGsは、あまりにも遠い存在なのです。

【私のミッション】

そこで、私ども静岡市は、大きな影響力を持つステークホルダーとして、静岡市に暮らす70万人の市民の生活と、国連が掲げるSDGsの理想の世界との距離感を一歩でも近づけていくことを、静岡市のミッションとして乗り出しました。

なぜなら、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念と、私どもが目指す「住んでいる人の安心感と、訪れる人に満足感を抱かせる世界に輝く静岡市の実現」という理念には、非常に高い親和性があるからです。

【SDGsの認知度向上】

さて、静岡市とSDGsの距離感を近づけるため、私どもが始めたユニークな取組をひとつご紹介します。

(例えば)SDGsのゴールNo.5に、「ジェンダー平等を実現しよう」があります。

このゴールは、「今から12年後の2030年までに、女性が社会の隅々で、いきいきと活躍する静岡市を実現する」という静岡市の総合計画上のビジョンと一致します。

ご存知のとおり、20世紀の高度経済成長期の日本では、男性が働き手、女性が家事、という前提にたった男性中心の経済・社会が長い間、伝統的に成り立っていました。

わが国も少子・高齢社会、人口減少時代に突入して、21世紀、社会を構成する、全ての人が、その希望や能力に応じ活躍できる社会でなければ、地域活力が維持できず、その実現のために、特に重要なのが、経済社会の様々な場面で女性が躍動していることです。

そこで、静岡市では、この3年間で、集中的に、働く母親が安心して小さい子どもを預けることができる施設「保育園」「子ども園」を劇的に増やして、女性が活躍しやすい環境を整備する一方、女性が開発した商品を販売する企業の表彰制度をつくるなど、女性活躍に向けた世論の喚起を行っており、今後、さらに取組を充実してまいります。

一方、10代、20代、30代の女性に関心の高い東京ガールズコレクション、特に今回は、SDGs推進を冠したこの事業を来年の1月、初めて、静岡市で開催することとしました。

東京ガールズコレクションは、日本にとどまらず、アジアでも圧倒的な人気を誇るファッションフェスタであり、ファッションとSDGsがコラボレーションすることで、若い女性にSDGsを意識させる絶好の機会になります。

まずは、10代、20代、30代の女性にジェンダー平等への関心を高めていくことで、20世紀型の男性中心の日本社会を変える突破口にしていきたいと考えます。

【SDGsへの市民参画】

そして、SDGs推進東京ガールズコレクションin静岡をメインイベントに様々な取組を進め、SDGs全体に対する認識を高めてまいります。

静岡市では、例年1月3日に若者が大人になったことを祝う日本伝統の行事である式典「成人式」を行います。20歳を迎えた女性の多くは、振袖という日本伝統の衣装で着飾り、同年代の男性と合わせ、毎年3,000人以上の若者が成人式に集まります。その1月3日から東京ガールズコレクション開催までの期間、SDGs推進ウィークと名打って、若者が中心となった各種啓発イベントを開催し、まちをSDGs一色にしたいと考えています。

具体的には、中学生や高校生、大学生が授業や講義で学んだSDGsに関する成果発表、2007年、静岡市出身のミスユニバースによるパフォーマンス、シャンソン様をはじめとする市内有力企業やNPO団体にも協賛していただき、一般市民の方々を巻き込んでいきます。

1月は、1年の中で、富士山が最も美しく眺められる季節です。

どうぞ、会場の皆さまにも静岡市にお越しいただき、それらの取組に、是非、立ち会っていただきたいと思っております。

【むすびに】

むすびに、静岡市の都市特性について一言申し上げます。

静岡市でできることは、日本中のどこへ行ってもできる、ということです。

恵まれた自然環境と高度な都市機能とが両立している静岡市は、日本国内の縮図、平均的な日本らしい都市だということです。

国土のほぼ中央に位置する立地環境や、経済的に豊かな市民生活も相まって、日本の多くの企業が開発した商品を、まず、静岡市でテスト販売し、売れるかどうかを試すのです。

まさに、静岡市は、日本の標準、いわば、ジャパンスターダートの都市なのです。

静岡市民のSDGs認知度が向上すれば、日本国民の認知度も向上し、静岡市のSDGsへの取組は、やがて、日本全体を牽引していくことでしょう。

私は、この1年をかけて、静岡市民のSDGsの認知度を50%まで引き上げる、挑戦的な高い数値目標を掲げました。

できるか、できないか、でなく、やるか、やらないか、です。

本市の挑戦は、始まったばかりです。

どうぞ、静岡市に対するSDGs取組への一層の支援をお願い申し上げますとともに、このような場でスピーチする機会を設けていただいたアンワルル K.チャウドリー大使、ウィリアム・ケネディ国連上級職員をはじめ、国連関係の皆様は厚く御礼を申し上げ、私のスピーチを締めくくります。

ご清聴ありがとうございました。